Canon

PUB. DIJ-291B

デジタルビデオカメラ

iVIS FS10
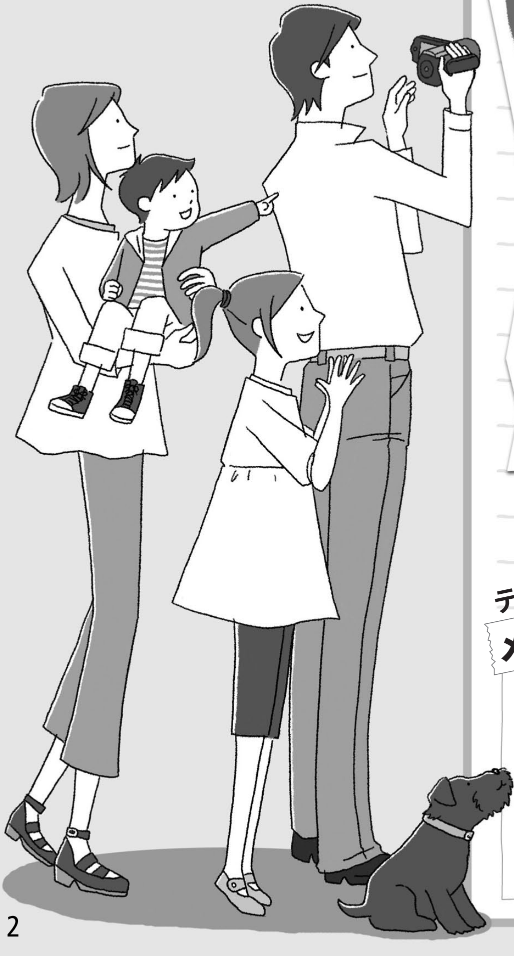
使用説明書



iVIS を使って

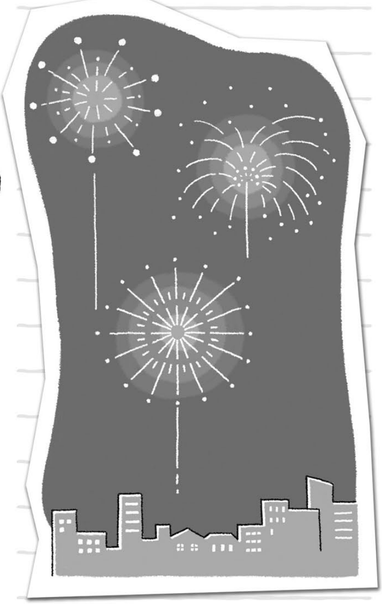
楽しく作ろう!!
思い出ライブラリー

赤ちゃんがはじめて歩いたときの感動。
一等賞をもらったうれしそうな笑顔。
ドーンと響く夏の夜の大輪。
心をくすぐる瞬間をiVISに収めましょう。



スペシャルシーンを撮る
花火も鮮やかに …… 46

夏の夜を彩るワンシーン。
夜空に咲く花火をキレイに
表現します。



テープとはココが違う！
メモリーは軽い!スゴい!!

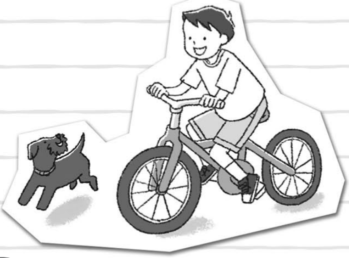
1 買ってすぐに撮れる …… 30

8GBの内蔵メモリーに、標準画質SPモードで約2時間45分撮影可能。
買ったその日から、家族の笑顔が残せます。

瞬間を逃さない
クイックスタートを使う

……34

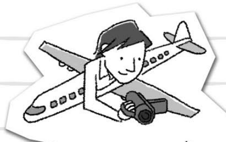
はじめて一人で乗れた！
約1秒で撮影可能状態になり感動を逃しません。



海外でも安心
世界の電圧/周波数に対応

……140

変換プラグがあれば、どこでも充電可能です!
一部の国ではテレビで見られます。





アップで撮る
アドバンストズーム

……33

近くで撮れなくても、キレイな画質のまま48倍まで拡大できるから安心です。



夕焼けを撮る
スペシャルシーンを撮る

……46

旅先での印象的な夕焼け。目に焼きついた光景をそのまま色鮮やかに表現します。



2 重ね撮りの心配がない

撮影した映像は、メモリーの空いているところに記録されますので、誤って重ね撮りして大切な記録を消してしまう恐れがありません。

3 一覧画面から一発再生 ……36

見たいシーンを探すとき、テープのように巻き戻し、早送りで頭出しする手間は一切不要。インデックス画面からパッと選んで一発再生です。

4 パソコンで保存や編集

ImageMixer 3では動画、DIGITAL VIDEO Solution Diskでは静止画のパソコンへの保存や管理などができます。詳しくは各ソフトウェアの説明書をご覧ください。

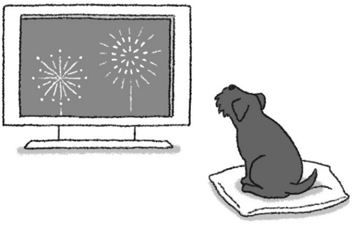
CONTENTS
もくじ



Chapter 3
写真



CONTENTS
もくじ



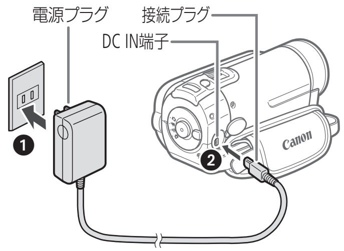
やりたいこと目次

さっそく撮ってみよう

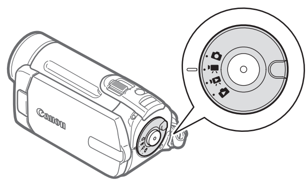
箱から出して、今すぐ撮影してみたい----という方のために一通りの操作を説明します。まずはメモリーに気楽に撮ってみましょう。



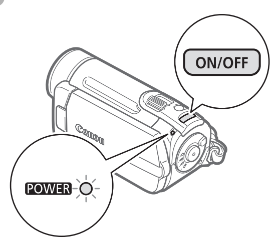
1 コンセントにつなぐ



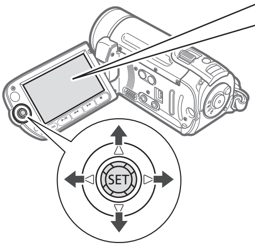
2 にする



3 ONにする



4 時計を合わせる



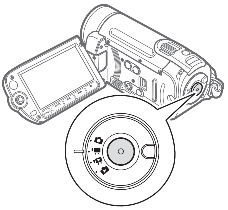


❶上下に押して、年を設定する。

- 左右に押すと年、月、日、時刻を選択できる。

❷左右に押してOKを選ぶ→ SET を押す。

5 押す ▶ 撮影開始！

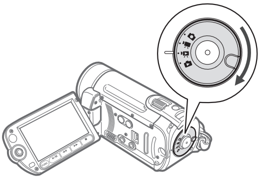


- もう一度押すと撮影終了

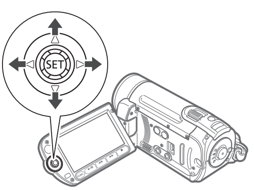
映像を再生してみよう

電源を切らずにそのまま操作してください。

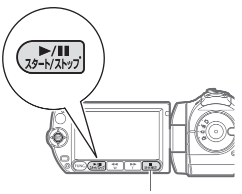
❶ 再生モード にする



❷ 見たいシーンを選ぶ

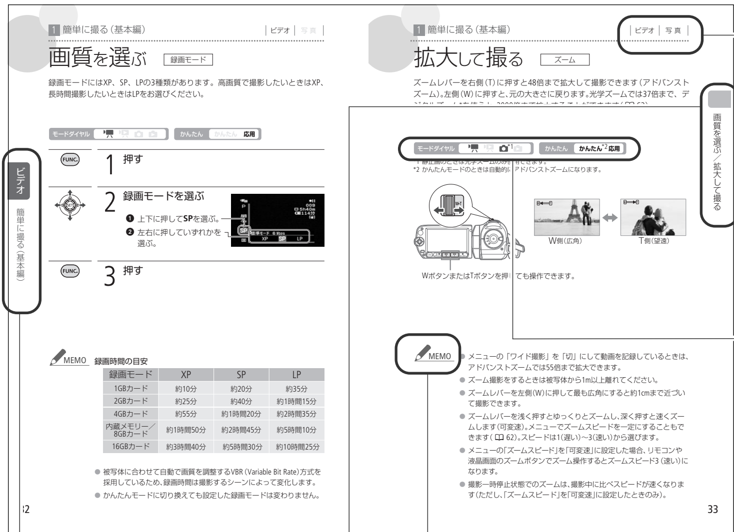


❸ 押す ▶ 再生開始！



- 再生を終えるときは ■逆光補正 を押す。

この本の読みかた



1 簡単に撮る（基本編）　｜ビデオ｜写真｜

画質を選ぶ　録画モード

録画モードにはXP、SP、LPの3種類があります。高画質で撮影したいときはXP、長時間撮影したいときはLPをお選びください。

モードダイヤル　かんたん　かんたん　応用

ビデオ　簡単に撮る（基本編）

FUNC.　1 押す

2 録画モードを選ぶ

❶ 上下に押して**SP**を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

標準モード 6 Mbps　XP　SP　LP

FUNC.　3 押す

MEMO　録画時間の目安

録画モード	XP	SP	LP
1GBカード	約10分	約20分	約35分
2GBカード	約25分	約40分	約1時間15分
4GBカード	約55分	約1時間20分	約2時間35分
内蔵メモリー／8GBカード	約1時間50分	約2時間45分	約5時間10分
16GBカード	約3時間40分	約5時間30分	約10時間25分

- 被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しているため、録画時間は撮影するシーンによって変化します。
- かんたんモードに切り換えても設定した録画モードは変わりません。

32

1 簡単に撮る（基本編）　｜ビデオ｜写真｜

拡大して撮る　ズーム

ズームレバーを右側（T）に押すと48倍まで拡大して撮影できます（アドバンストズーム）。左側（W）に押すと、元の大きさに戻ります。光学ズームでは37倍まで、デ

モードダイヤル　*1　かんたん　かんたん*2 応用

*2 かんたんモードのときは自動的にアドバンストズームになります。

画質を選ぶ／拡大して撮る

W側（広角）　T側（望遠）

Wボタンまたはボタンを押しても操作できます。

MEMO

- メニューの「ワイド撮影」を「切」にして動画を記録しているときは、アドバンストズームでは55倍まで拡大できます。
- ズーム撮影をするときは被写体から1m以上離れてください。
- ズームレバーを左側（W）に押して最も広角にすると約1cmまで近づいて撮影できます。
- ズームレバーを浅く押すとゆっくりとズームし、深く押すと速くズームします（可変速）。メニューでズームスピードを一定にすることもできます（🕮 62）。スピードは1（遅い）～3（速い）から選びます。
- メニューの「ズームスピード」を「可変速」に設定した場合、リモコンや液晶画面のズームボタンでズーム操作するとズームスピード3（速い）になります。
- 撮影一時停止状態でのズームは、撮影中に比べスピードが速くなります（ただし、「ズームスピード」を「可変速」に設定したときのみ）。

33

探すための見出し

知りたい機能をすばやく探すための見出し。左ページに章タイトル、右ページには機能の名前を載せている。

本文中の表記

🕮10（🕮 10）	参照ページを示す。
参考 ▸▸	参考になるページなどを示す。
画面	液晶画面のこと。
カード	SDメモリーカード、SDHCメモリーカードのこと。
メモリー	「内蔵メモリー」または「カード」のこと。
ImageMixer 3	付属のソフトウェア「PIXELA ImageMixer 3 SE」のこと。

*画面の写真はスチルカメラで撮影したものを使用しています。

ビデオと写真のどちらで使えるかを示すマーク

ビデオ

動画の撮影/再生で使える機能。

写 真

静止画の撮影/再生で使える機能。

ダイヤルの位置やボタンの状態を示すマーク

モードダイヤル

モードダイヤルの位置。この場合は または の位置に合わせる。ほかに 、 がある。

かんたん かんたん 応用

かんたんボタンを押すたびに、**かんたん**（ボタンが点灯）または**応用**（消灯）に切り換わる。この場合はどちらのときでも使用できる。

コラムのマーク

ご注意

守ってほしいこと。

MEMO

知っておいてほしいこと。

使う前に知っておいてください

かならず「ためし撮り」しましょう

大切な映像を撮るときは、必ず事前にためし撮りをして、正しく録画・録音されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラ、カードなどの不具合で記録や再生ができない場合でも、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権に注意しましょう

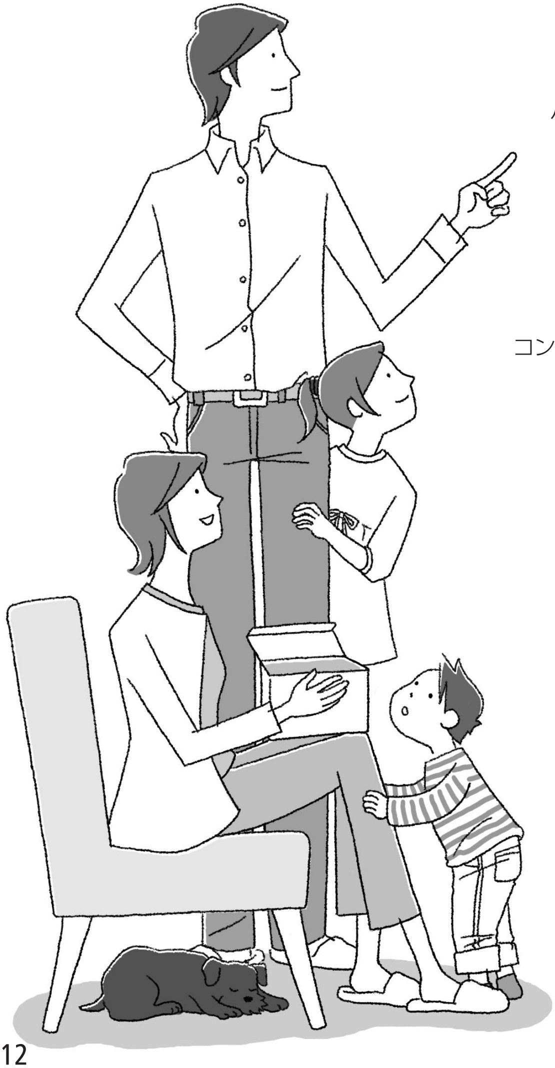
録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

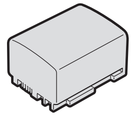
液晶画面について

液晶画面は、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

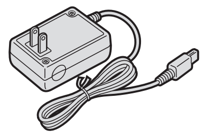
そろっていますか？

本体以外の付属品がそろっているかチェックしましょう。

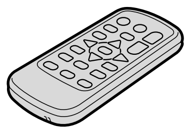




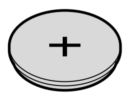
バッテリーパック BP-808



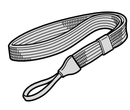
コンパクトパワーアダプター
CA-590



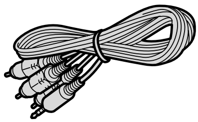
リモコン（ワイヤレス
コントローラー）WL-D88



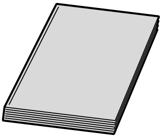
コイン型リチウム電池
CR2025（リモコン用）



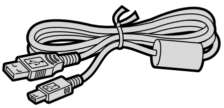
リストストラップ
WS-30



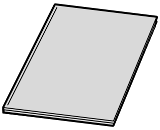
ステレオビデオケーブル
STV-250N



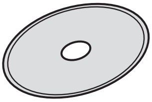
iVIS FS10
使用説明書（本書）



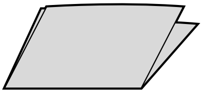
USBケーブル
IFC-400PCU



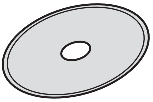
操作早わかり
ガイド



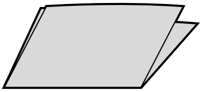
PIXELA ImageMixer 3 SE *
（動画の保存、管理、編集、再生用）



PIXELA ImageMixer 3 SE
インストールガイド



DIGITAL VIDEO
Solution Disk *
（静止画の保存、管理、印刷用）



DIGITAL VIDEO
Solution Disk
スタートガイド

* 説明書がPDFデータとして入っています。

各部のなまえ

本文中に出てくる名称です。■内の数字は参照ページです。

液晶画面 23
撮影範囲を確認したり、ビデオや写真を再生する

ズームレバー 33
大きく、または広範囲を撮る

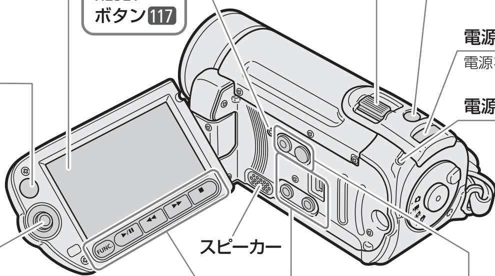
PHOTOボタン 76
写真を撮る

RESET
RESETボタン 117

電源ボタン 30
電源をON/OFFする

電源ランプ 30

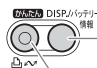
リモコン受光部 21



スピーカー

ジョイスティック 36
ジョイスティックの SET を押すと画面に右のような操作案内が出ます。撮影/再生状況によって表示が変わります。





DISP.（ディスプレイ）ボタン 23 87 / バッテリー情報ボタン 19

かんたんボタン 31 / （イージーダイレクト）ボタン 94

液晶画面の下のボタン

FUNC.（ファンクション） 46 144

▶/❚❚（再生/一時停止） 36 / スタート/ストップ 30

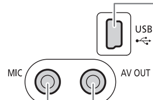
◀◀（早戻し） 38 / W（広角） 33



▶▶（早送り） 38 /T（望遠） 33

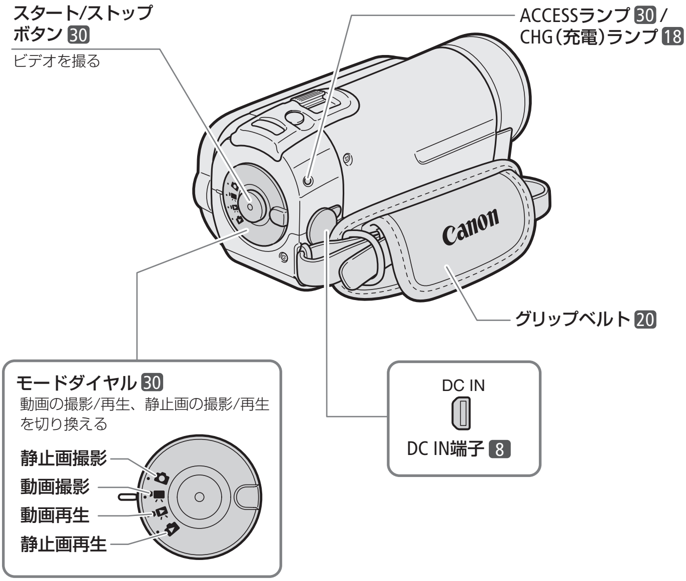
■（停止） 36 /逆光補正 52

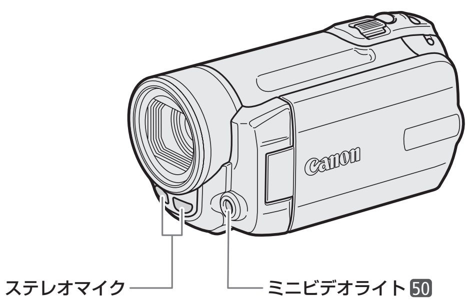
USB端子 93

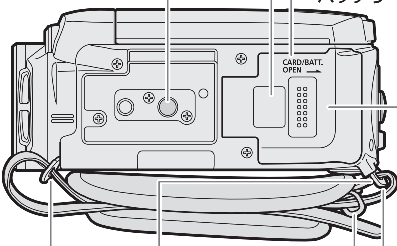


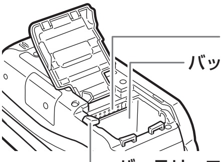
AV端子（黄色） 44

MIC（マイク）端子（赤色） 60

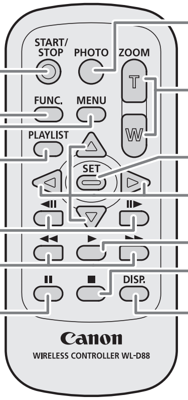

スタート/ストップ
ボタン 30
ビデオを撮る
ACCESSランプ 30 /
CHG（充電）ランプ 18
グリップベルト 20
モードダイヤル 30
動画の撮影/再生、静止画の撮影/再生
を切り換える
静止画撮影
動画撮影
動画再生
静止画再生
DC IN
DC IN端子 8


ステレオマイク
ミニビデオライト 50





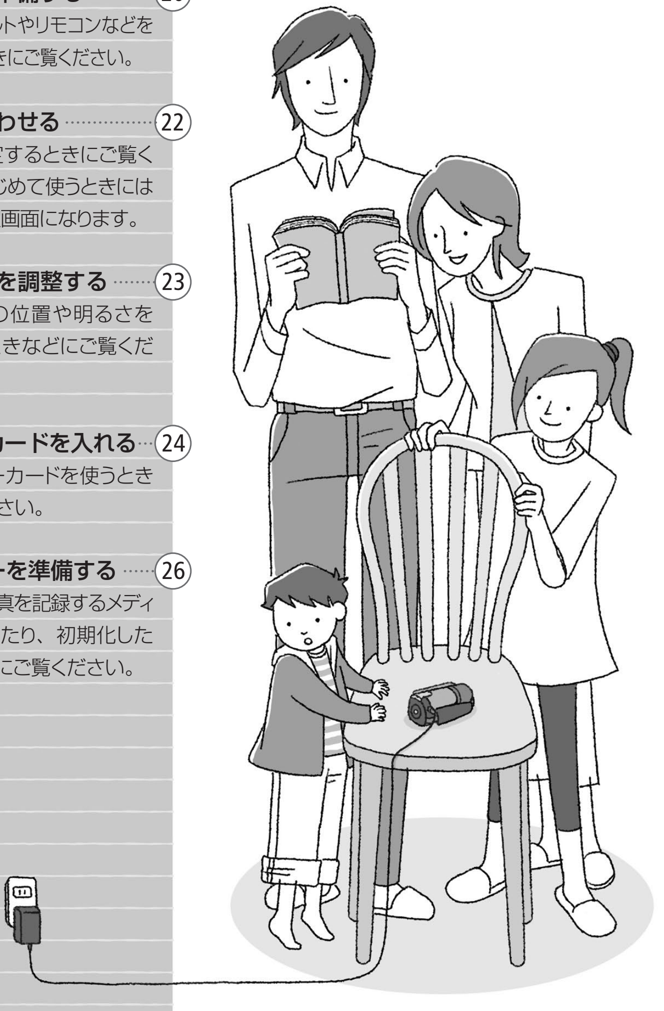
リモコン



* 本文中では、「ジョイスティック」という言葉で説明しています。

Chapter
1
準備する

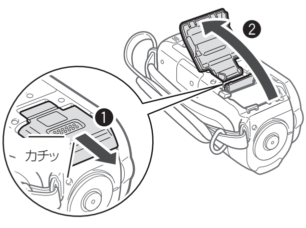
Getting Started



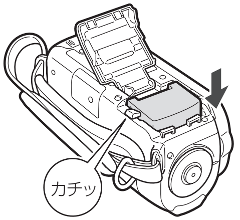
バッテリーを充電する

バッテリーを本体に取り付け、家庭用コンセントから充電します。

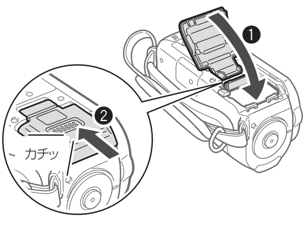
1 カバーを開ける



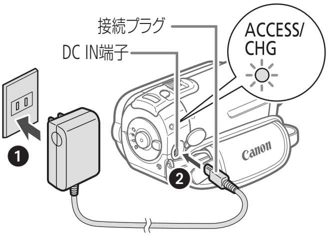
2 バッテリーを取り付ける



3 カバーを閉じる

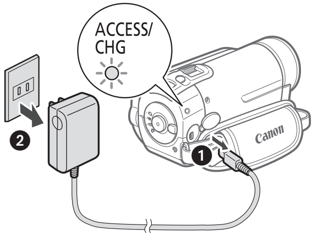


4 コンセントにつなぐ



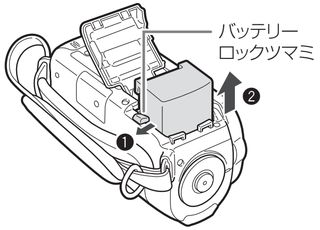
- CHGランプが1秒に1回点滅する。他の点滅のしかたの場合は「故障かな？」(🕮 114)をご覧下さい。

5 点滅→点灯で充電おわり



バッテリーを取りはずすとき

バッテリーロックツマミをグリップベルト側に押して取りはずす。



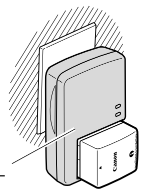
バッテリーを充電する

ご注意

- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源を切って、電源ランプが消えていることを確認してください。撮影したデータが破損する恐れがあります。
- 10℃～30℃の場所で充電することをおすすめします。0℃未満、40℃以上の場所では充電できません。

MEMO

- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだまままお使いください。
- バッテリーをフル充電したときの使用時間は150ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- 付属のバッテリーの充電時間は約195分です。なお、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- 別売のバッテリーチャージャーCG-800を使うと約105分で充電できます。詳しくはバッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。
- バッテリーの取り扱いについては、135ページをご覧ください。

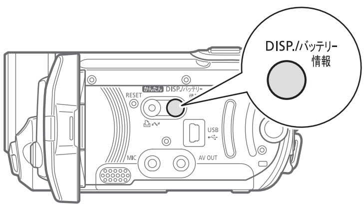


バッテリーチャージャー
CG-800(別売)

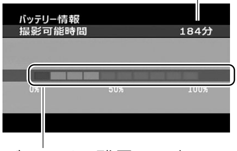
バッテリーの残量を確認するには

電源OFFのときにバッテリー情報ボタンを押すと、バッテリーの残量と撮影可能時間が5秒間表示されます*。残量が40%以上のときは緑色、10%以上40%未満は黄色、10%未満は赤色で表示されます。

* バッテリーが消耗していると表示されないことがあります。



撮影可能時間

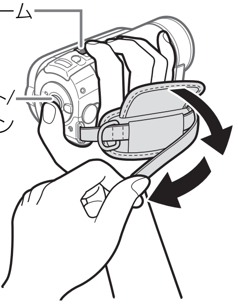


バッテリー残量の目安

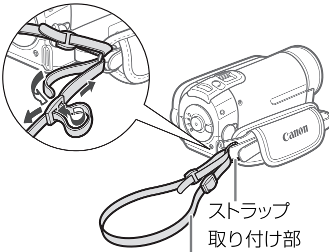
付属品を準備する

グリップベルトやストラップの調整、リモコンの準備をしましょう。

■ グリップベルトを調整する

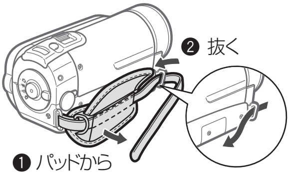


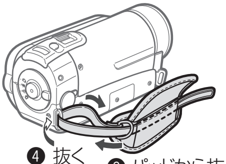
■ ショルダーストラップ(別売)を取り付ける



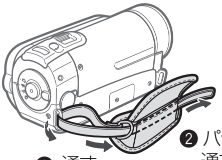
■ グリップベルトの取りはずし/取り付け

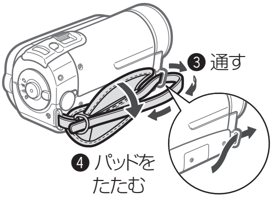
取りはずすとき



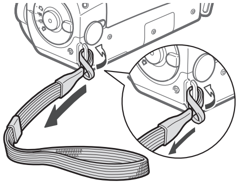


取り付けるとき



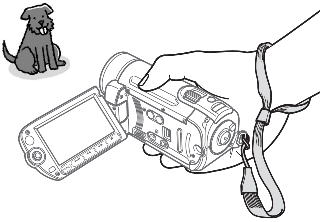


■ リストストラップを取り付ける

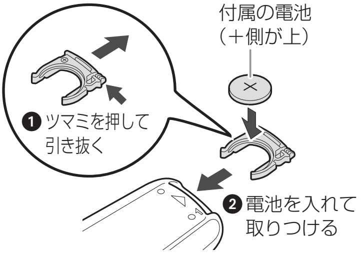


● グリップベルトのストラップ取り付け部に取り付けることもできる。

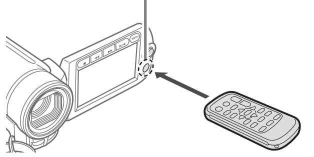
低い位置から撮るとき（構え方）



■ リモコンを準備する



使うときは受光部に向けて



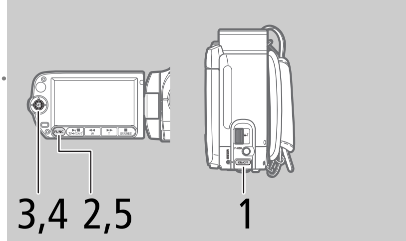
MEMO

● リモコンの受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。

● リモコンで操作できないときは、メニューの「リモコンセンサー」を「入」にしてください（📖 68）。または電池を交換してください。

時計を合わせる

時刻は2カ所セットできます。海外旅行先の日時を設定しておくと、現地の日時で記録できます（📖 141）。



ON/OFF

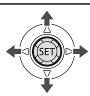
1 ONにする

はじめて使うとき

自動的に「日付/時刻」の画面が表示されるので、操作4の❷〜❸の操作をして終了。

FUNC.

2 押す



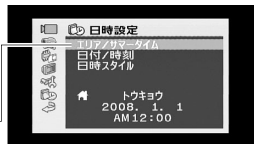
3 地域を選ぶ

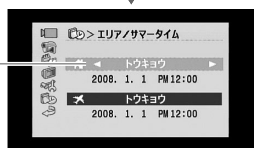
❶ ☰（メニュー）→「日時設定」を選ぶ→ SET を押す。

❷「エリア/サマータイム」を選ぶ→ SET を押す。

❸「トウキョウ」を確認する→ SET を押す。

- 海外に住んでいるときは、左右に押して居住地域を選ぶ。





4 日時を設定する

❶ 上下に押して「日付/時刻」を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して、年を設定する。

- ジョイスティックを左右に押すと年、月、日、時刻を選択できる。

❸ 左右に押して **OK** を選ぶ→ SET を押す。



FUNC.

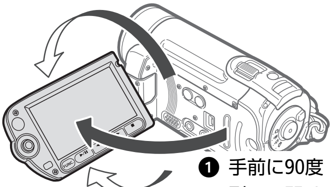
5 押す

MEMO

- 本機を約3ヶ月使わないと、内蔵の充電式電池が放電して、日時の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください（📖 137）。

液晶画面を調整する

■ 位置を調節する

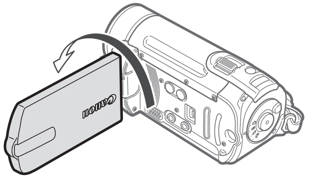


❶ 手前に90度引いて開ける

❷ 回転させて見やすい位置にする

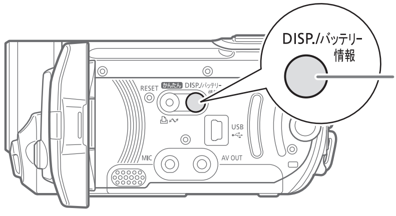
自分自身を撮る

液晶画面を見ながら、リモコンを使って自分自身を撮影できます。
レンズと同じ方向を向くように回転させます。



■ 画面の明るさを調節する

画面の明るさを2段階に切り換えられます。屋外撮影時、太陽光などで画面が見にくいときは明るくしてください。



電源が入っているとき、2秒以上押す
2秒以上押すごとに明るさが切り換わる。

MEMO

- 画面の明るさを調整しても、記録される映像の明るさには影響しません。
- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。
- コンパクトパワーアダプターをつなぐと、自動的に画面の明るさが明るい状態になります。

SDメモリーカードを入れる

動画や静止画をSDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードに記録できます。ただし、動画の場合はカードによっては記録できないことがあります。次の表で確認してください。

動画を記録できるカード

	容量	SDスピードクラス	動画記録
SDメモリーカード	64MB以下	—	—
	128MB～2GB	—	○*
	512MB～2GB	CLASS 2 以上	○
SDHCメモリーカード	4GB～32GB	CLASS 2 以上	○

* カードによっては記録できない場合があります。

次のメーカー製のSDメモリーカードとSDHCメモリーカードについて、動画記録時の動作を確認しています（2008年1月現在）。

- Panasonic
- TOSHIBA
- SanDisk

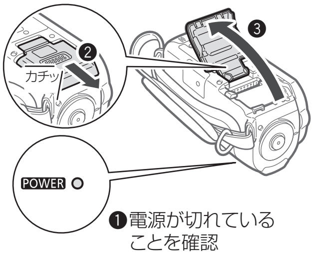
SDスピードクラスとは？

SDメモリーカードやSDHCメモリーカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。メモリーカードを購入するときは、スピードクラスのマークを確認してください。

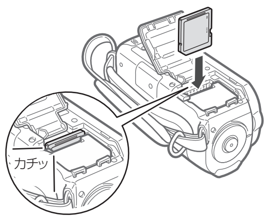
■ カードを入れる

カードをはじめて使用するときは、まず初期化してください(📖 27)。

1 カバーを開ける



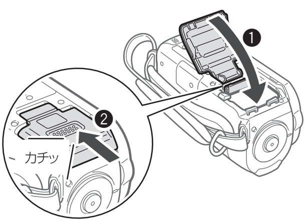
2 カードをまっすぐ入れる



カードを出すとき

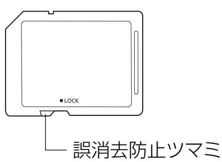
カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

3 カバーを閉じる



- カードが正しく入っていない状態で無理に閉めない。

誤ってデータを消さないために



カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できる。

ご注意

- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。正しい向きで入れてください。

記録メモリーを準備する

動画や静止画を内蔵メモリーまたはカードに記録できます。

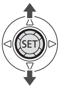
■ 記録メモリーを選ぶ

動画や静止画の記録先を選択します。

モードダイヤル ／ かんたん 応用



1 押す

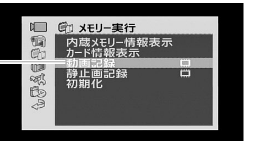


2 動画/静止画の記録先を選ぶ

❶ (メニュー)→「メモリー実行」を選ぶ→ SET を押す。

❷「動画記録」または「静止画記録」を選ぶ→ SET を押す。

❸「内蔵メモリー」または「カード」を選ぶ→ SET を押す。



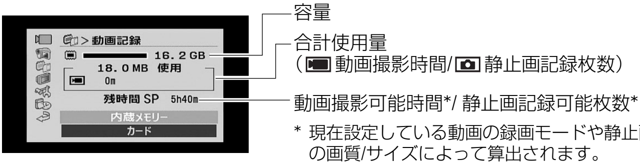




3 押す

記録先の容量や使用量をチェックする

操作2の❸で内蔵メモリーやカードの容量と使用量、記録可能容量を確認できます。



* 現在設定している動画の録画モードや静止画の画質/サイズによって算出されます。

■ 初期化する

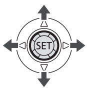
カードをはじめて使用するときや、内蔵メモリー*やカードに記録した動画/静止画などすべての情報を消すときに初期化します。初期化には「初期化」と「完全初期化」があり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。

* ご購入時、内蔵メモリーは初期化されています。

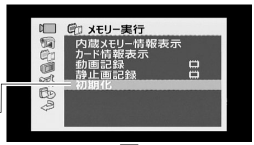
モードダイヤル　かんたん　かんたん　**応用**

FUNC.

1 押す



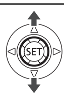
2 初期化するメモリーを選ぶ



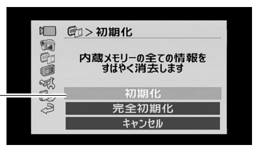
❶ (メニュー)→「メモリー実行」→「初期化」を選ぶ→ SET を押す。



❷ 「内蔵メモリー」または「カード」を選ぶ→ SET を押す。



3 初期化を選ぶ



❶ 「初期化」または「完全初期化」を選ぶ→ SET を押す。

❷ 「はい」を選ぶ→ SET を押す。

完全初期化を中止するとき

SET (中止)を押す。データはすべて消える。

❸ SET (OK)を押す。

FUNC.

4 押す

ご注意

- 初期化すると、メニューでプロテクト設定をした静止画を含め、すべての情報が消え、元に戻せません。必ず記録した動画/静止画をパソコンやDVDなどにバックアップ(📖 102、108)してから初期化してください。
- 初期化中は電源を取りはずさないでください。



Chapter **2**

ビデオ

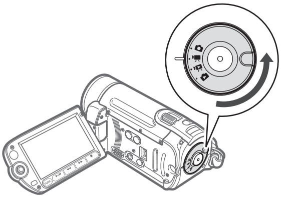
Recording and Playing Back Movies



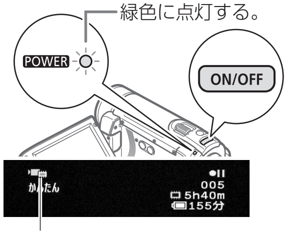
ビデオを撮る

動画は内蔵メモリーとカードに記録できます。

1 [動画モード]にする



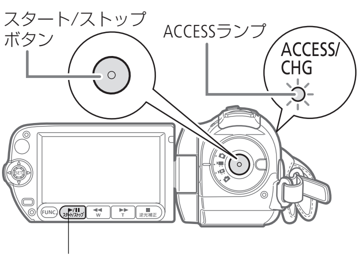
2 ONにする



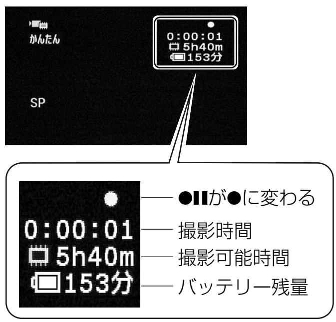
[内蔵メモリー動画]または[カード動画]が表示される

- カードに記録するとき（📖 26）。

3 押す ▶ 撮影開始！



[▶/II スタート/ストップ]を押しても撮影をはじめられる。



撮影を終えるとき

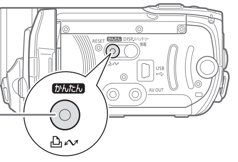
もう一度、スタート/ストップボタンを押す。

電源を切るとき

1. ACCESSランプが消えていることを確認
2. 電源ボタンを押す
3. 液晶画面を垂直にしてから閉じる

かんたんモードと応用モード(かんたんボタン)

とにかく簡単に撮影するための「かんたんモード」と、いろいろな調整ができる「応用モード」を切り換えることができます。



かんたんモード

難しい設定をしないで撮影したいときは、かんたんボタンを押して「かんたんモード」(ボタンが青く点灯)にします。
かんたんモードでは、ズーム機能やクイックスタート機能のみお使いいただけます。その他の機能の設定や調整はできません。

応用モード

撮影シーンに合わせて個別に調整したり、メニューの設定を変更したいときなどは、かんたんボタンを押して「応用モード」(ボタンが消灯)にします。

かんたんモードに切り換えたとき

かんたんモードに切り換えると、メニューの設定内容はご購入時の設定に戻ります。ただし以下のメニューのみ、応用モード時に設定した内容がそのまま保持されます。

- FUNC.メニューの「録画モード」(動画記録時)
- FUNC.メニューの画質/サイズ(静止画記録時)
- メニューの「オートスローシャッター」の設定内容
- メニューの「ワイド撮影」の設定内容
- メニューの「システム設定」の全項目の設定内容

ご注意

- ACCESSランプが点滅している間は、つぎのことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - モードダイヤルを操作しない。

MEMO

- バッテリーを使っているときに、約5分間何も操作しないと、節電のため電源が切れます(📖 69)。このときは電源を入れ直してください。
- 液晶画面に光が当たって映像がよく見えないときは、画面の明るさを調節してください(📖 23)。

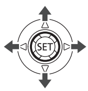
画質を選ぶ　録画モード

録画モードにはXP、SP、LPの3種類があります。高画質で撮影したいときはXP、長時間撮影したいときはLPをお選びください。

モードダイヤル　かんたん　応用

FUNC.

1 押す



2 録画モードを選ぶ

❶ 上下に押して**SP**を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。



FUNC.

3 押す

MEMO　**録画時間の目安**

録画モード	XP	SP	LP
1GBカード	約10分	約20分	約35分
2GBカード	約25分	約40分	約1時間15分
4GBカード	約55分	約1時間20分	約2時間35分
内蔵メモリー/8GBカード	約1時間50分	約2時間45分	約5時間10分
16GBカード	約3時間40分	約5時間30分	約10時間25分

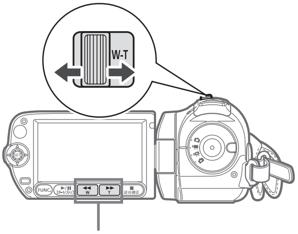
- 被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しているため、録画時間は撮影するシーンによって変化します。
- かんたんモードに切り換えても設定した録画モードは変わりません。
- 1回の撮影においてデータ容量が4GBを超えた場合、4GB以下のシーンとして分割保存されます。

拡大して撮る　ズーム

ズームレバーを右側（T）に押すと48倍まで拡大して撮影できます（アドバンストズーム）。左側（W）に押すと、元の大きさに戻ります。光学ズームでは37倍まで、デジタルズーム*を使うと、2000倍まで拡大することができます（📖 63）。

モードダイヤル　かんたん*2 応用

*1 静止画のときは光学ズームのみ使用できます。
*2 かんたんモードのときは自動的にアドバンストズームになります。



Wボタンまたは Tボタンを押しても操作できます。



W側（広角）



T側（望遠）

MEMO
- メニューの「ワイド撮影」を「切」にして動画を記録しているときは、アドバンストズームでは55倍まで拡大できます。
- ズーム撮影をするときは被写体から1m以上離れてください。
- ズームレバーを左側（W）に押して最も広角にすると約1cmまで近づいて撮影できます。
- ズームレバーを浅く押すとゆっくりとズームし、深く押すと速くズームします（可変速）。メニューでズームスピードを一定にすることもできます（📖 62）。スピードは1（遅い）〜3（速い）から選びます。
- メニューの「ズームスピード」を「可変速」に設定した場合、リモコンや液晶画面のズームボタンでズーム操作するとズームスピード3（速い）になります。
- 撮影一時停止状態でのズームは、撮影中に比べスピードが速くなります（ただし、「ズームスピード」を「可変速」に設定したときのみ）。

撮影チャンスを逃さない

クイックスタート

液晶画面を閉じると、省エネ状態*1でスタンバイします。撮りたいときに液晶画面を開けば、約1秒*2で撮影可能状態に戻りますので、大切なシーンを逃すことはありません。

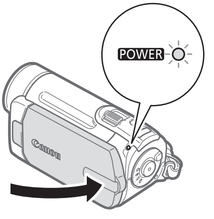
*1 バッテリーの消耗は撮影時の約半分となります。

*2 撮影可能状態になるまでの時間は、状況によって異なります。

モードダイヤル　かんたん　かんたん　応用

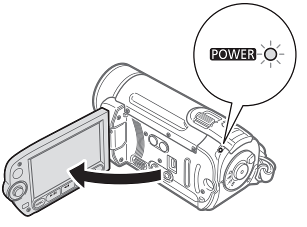
1. スタンバイする

- モードダイヤルが 🎥 または 📷 のとき、液晶画面を閉じる→電源ランプがオレンジ色に点灯してスタンバイ状態になる。



2. クイックスタートする

- 液晶画面を開く→電源ランプが緑色に点灯して撮影できる状態になる。



ご注意

- **スタンバイ中は電源を取りはずさないでください。**

MEMO

- 動画/静止画の記録中やメニューの表示中、カードカバーが開いているときやバッテリー残量が少なくなっているときなどは、スタンバイ状態にならない場合があります。必ず電源ランプがオレンジ色に変わるのを確認してください。
- スタンバイ後、10分経過すると電源が切れます。電源が切れるまでの時間は、メニューの「クイックスタート」で選択できます（ 📖 69）。なお、「パワーセーブ」（ 📖 69）は、スタンバイしているときは無効となります。電源が切れたときは、電源を入れ直してください。
- メニューの「クイックスタート」を「切」にすることで、クイックスタート機能を無効にすることもできます。

いま撮ったシーンを確認する・消す

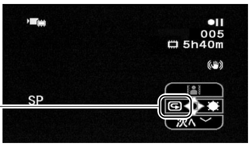
直前に撮ったシーンを再生して、録画状態をチェックすることができます。この場合、音声は聞こえません。

■ いま撮ったシーンを確認する

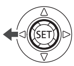
モードダイヤル | かんたん　かんたん　応用



1 SET を押す



- 操作案内が出る。 が表示されないときは、ジョイスティックを下に押す。



2 左（ ）に押す

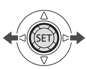
■ いま撮ったシーンを消す

モードダイヤル | かんたん　かんたん　応用

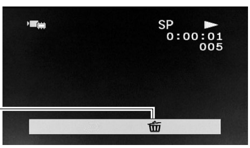


1 SET を押す

- 操作案内が出る。



2 シーンを消す

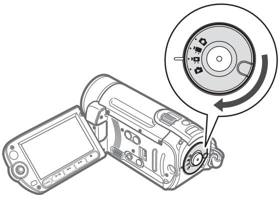


❶ 左（ ）に押す。
❷ 右に押して 🗑 を選ぶ → SET を押す。
❸ 右に押して「はい」を選ぶ→ SET を押す。

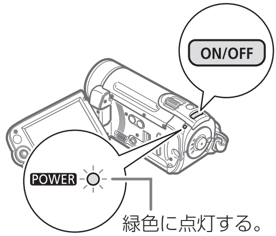
MEMO
- 消去中は一切の操作をしないでください。
- 撮影後モードダイヤルを動かしたり、電源を切ったりした場合は、直前のシーンは消せません。

ビデオを見る 撮った動画を液晶画面で見ます。

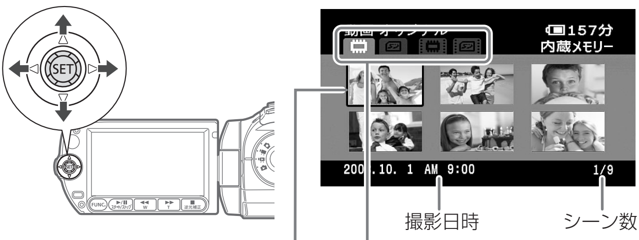
1 ▶🎥にする



2 ONにする



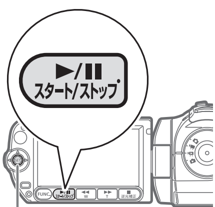
3 見たいシーンを選ぶ



ジョイスティックで見たいシーンを選ぶ。

表示するインデックス画面を切り換えるとき（📖37）

4 押す ▶ 再生開始！

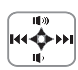


SET を押しても再生を始められる。

- ▶/II スタート/ストップ をもう一度押すと、再生一時停止となる。
- 選んだシーンの再生が終わると、つぎのシーンが再生される。
- 再生を終えるときは ■逆光補正 を押す。

音の大きさを変える

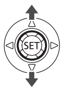
1. ジョイスティックの SET を押す。
2. 操作案内が出たら、上下に押して調整する。



■ 表示するインデックス画面を切り換える

インデックス画面で内蔵メモリーとカードのオリジナルとプレイリストを切り換えられます。静止画の場合は内蔵メモリーとカードの切り換えのみになります。

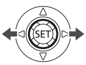
モードダイヤル



1 上下に押す

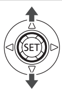
● オレンジ色になる。





2 左右に押してメモリーを切り換える

● 選んだメモリーのシーンがインデックス画面に出る。



3 上下に押す

● 1つのシーンが選択される。

ご注意

● ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  ■ カードカバーを開けない
  ■ 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  ■ モードダイヤルを切り換えない。
● 他機でカードに記録した動画は本機で再生できないことがあります。また、本機でカードに記録した動画は、他の機器で再生できないことがあります。

MEMO

● 撮影条件によっては、シーンが切り換わるときに映像が止まったり、音声が途切れたりすることがあります。
● リモコンのPLAYLISTボタンを押しても、オリジナルとプレイリストを切り換えることができます。

早送り、早戻し、さまざまな再生

以下の操作中は音声が聞こえません。早送りや早戻し中に スタート/ストップ を押すとふつうの再生に戻り、スロー再生/スロー逆再生中に押すと一時停止に戻ります。「/」の右のボタンはリモコンを使用した場合の操作です。

早送り*	再生中に T / ▶▶	ボタンを押すたびに再生速度が約5倍→約15倍→約60倍に切り換わる。**
早戻し*	再生中に W / ◀◀	
スロー再生*	一時停止中に T / ▶▶	約1/8倍のスロー再生。
スロー逆再生*	一時停止中に W / ◀◀	約1/12倍のスロー逆再生。
コマ送り	一時停止中に — / II▶	ボタンを押すたびに1コマ進む。押し続けると連続してコマごとに進む。
コマ戻し	一時停止中に — / ◀II	ボタンを押すたびに1コマ戻る。押し続けると連続してコマごとに戻る。
スキップ再生	再生中に SET▶ / ▷	次のシーンの先頭から再生。
	再生中に ◀SET / ◁	現在のシーンの先頭から再生。
	再生中に2回押す ◀◀SET / ◁	前のシーンの先頭から再生。

* 操作中、画面が乱れることがあります。
** 画面に出る倍速表示は目安です。

■ 見たいシーンを選ぶ

モードダイヤル

インデックス画面ごとに選ぶ

[W] または [T] を押し続ける

● インデックス画面全体に枠が出る。



撮影した日付から選ぶ

オリジナルの動画のときのみ、撮影した日付から見たいシーンを選べます。

FUNC.

1 押す

2 (日付選択)を選び、SET を押す

● 撮影順で並べられた日付の一覧が表示される。



● 撮影した日のシーン数とその日の撮影時間が表示される。

3 左右に押して年、月、日を選ぶ

● 上下に押して数字を選ぶ。



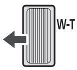
シーン数　その日の撮影時間

4 SET を押す

● 選んだ日付の最初のシーンがインデックス画面に出る。

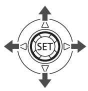
カレンダー表示から選ぶ

オリジナルの動画のときのみ、撮影した日付から見たいシーンを選べます。



1 左側（W）に押す

- カレンダー表示画面が出る。



2 撮影した日付を選ぶ

❶ 上下に押して枠を年、月に合わせ、左右に押して数字を選ぶ。

❷ 上下に押して枠を日に合わせ、上下左右に押して数字を選ぶ。



- シーンのある日は白で表示される。
- ⏩T / ⏪W を押すと、次または前のシーンのある日に枠が移動する。

中止するとき

FUNC.ボタンを押す。



3 (SET) を押す

- 選んだ日付の最初のシーンがインデックス画面に出る。

MEMO ● メニューの「カレンダー指定」で、カレンダー表示の週の始めを「土曜、日曜、月曜」のいずれかに切り換えられます（📖 67）。

■ お好みのコマから再生する（タイムライン）

見たいシーンの中のお好みのコマから再生できます。

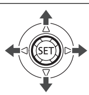






1 押す

- タイムライン画面が出る。



2 左右に押してコマを選ぶ

他のシーンを見るとき

上下に押して現在のシーンを選び、左右に押す。

次/前の5つのコマを表示するとき

上下に押してコマ位置バーを選び、左右に押す。

コマの間隔を変えるとき

FUNC.ボタンを押す→左右に押して間隔を変える→ (SET) を押す。

インデックス画面に戻るとき

DISP.ボタンを押す。



3 押す

- 再生が始まる。

シーンを消す

1つのシーン、撮影したある日のすべてのシーン、または記録されたすべてのシーンをまとめて消すことができます。シーンを消すことでメモリーの空き容量を増やせます。撮影直後のシーンを消す場合は35ページ、プレイリスト内のシーンを消す場合は、72ページをご覧ください。

■ ひとつのシーン、ある日のシーンをまとめて消す

モードダイヤル

1 シーンを選ぶ

- 撮影したある日のすべてのシーンを消す場合は、その日の動画の内の1つを選ぶ。

2 押す

FUNC.

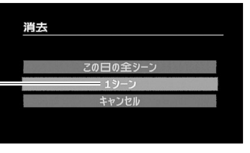
3 シーンを消す

❶ 🗑（消去）を選ぶ→ SET を押す。



❷「1シーン」または「この日の全シーン」を選ぶ→ SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。



中止するとき

SET（中止）を押す。「この日の全シーン」を選んだときは操作を中止できる。1部のシーンは消去される。

❹ SET（OK）を押す。

4 押す

FUNC.

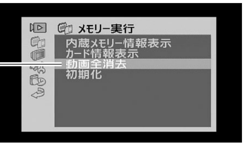
■ すべてのシーンをまとめて消す

モードダイヤル

FUNC.

1 押す

2 動画全消去を選ぶ



❶ (メニュー)→「メモリー実行」→「動画全消去」を選ぶ→ SET を押す。

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

- 現在インデックス画面を表示しているメモリーのシーンがすべて消える。

中止するとき

SET (中止)を押す。一部のシーンは消去される。

❸ SET (OK)を押す。

FUNC.

3 押す

ご注意

- **一度消したシーンは元に戻りませんので、消す前にシーンを確認してください。**
- 大切な映像データは、あらかじめバックアップしてください(📖 102)。
- シーン消去中、ACCESSランプが点灯しているときは、電源を切ったり、モードダイヤルを切り換えたり、カードカバーを開けたりしないでください。

MEMO

- 消したシーンがプレイリストに追加されている場合は、プレイリスト上のシーンも消去されます。
- メモリーに記録されているすべてのシーンを消して容量を元に戻す場合は、初期化します(📖 27)。
- 他機で記録や編集をしたシーンは消去できないことがあります。

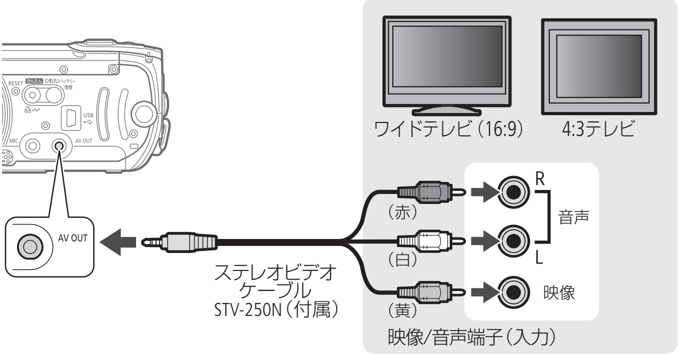
テレビで見る

本機をテレビにつないで映像を見る方法です。

モードダイヤル

* 撮影時にテレビで見ることもできます。

1 付属のケーブルで本機をテレビに接続する



2 本機とテレビの電源を入れる

- ワイド(16:9)モードのない4:3テレビに接続して動画を再生する場合は、メニューの「テレビタイプ」を「4:3」にする（📖 69）。
- テレビ側で入力端子を切り換える。

3 再生する

動画を見るとき（📖 36）
静止画を見るとき（📖 80）

MEMO

- 本機にステレオビデオケーブルをつなぐと、本機のスピーカーからは音声は出ません。音量はテレビ側で調整してください。
- 本機をコンパクトアダプターにつなぐと、バッテリーの消耗を気にせずご覧になれます。
- ワイド画面で撮影されたシーンを再生するとき、ビデオID-1方式対応のテレビにつなぐと、自動的にワイド画面（16：9）に切り換わります。切り換わらない場合は、テレビ側で切り換えてください。

場面に合わせて撮る

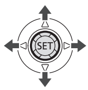
スペシャルシーンモード（SCN）

照り返しの強いスキー場や、海に沈む夕日、夜空を彩る打上げ花火など、場所や被写体に合わせてきれいに撮影します。

モードダイヤル | かんたん 応用

FUNC.

1 押す



2 撮影モードを選ぶ

❶ 上下に押して **P** を選ぶ。
❷ 左右に押して を選ぶ → SET を押す。
❸ 左右に押していずれかを選ぶ。



FUNC.

3 押す

「場面に合わせて撮るとき」に選べる項目

ポートレート

背景をぼかして、被写体を引き立たせる。



スポーツ

動きの速い被写体を撮る。



ナイト

暗い場所で被写体を明るく撮る。



スノー

照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。



ビーチ

照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。



夕焼け

夕焼けを色鮮やかに撮る。



スポットライト

スポットライトが当たった被写体をきれいに撮る。



打上げ花火

打上げ花火をきれいに撮る。



MEMO

ナイトについて

- 動きのある被写体は、残像が目立つ映像になることがあります。
- 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- 画面に白い点などが出ることがあります。
- 自動でピントが合いにくいときは、ピントを調整してください（📖 53）。

打上げ花火について

- 手ぶれを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。
- 静止画撮影中は、シャッタースピードが遅くなるため、必ず三脚をお使いください。

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチの各モードで撮影した映像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- ポートレートのときにズームレバーを右側（T）にすると、背景がより効果的にぼけます。
- スノー/ビーチのとき、曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎることがあります。画面で映像をご確認ください。

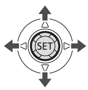
動きの速いものを撮る　シャッタースピード

シャッタースピードが速いと、動きの速い被写体を一瞬でとらえ、遅いと水の流れのような流動感を表現できます。

モードダイヤル　かんたん　かんたん　応用



1 押す



2 撮影モードを選ぶ

❶ 上下に押して **P** を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。



P（プログラムAE）：シャッタースピードとしぼりが自動で設定される。

Tv（シャッター優先AE）：シャッタースピードを自分で選ぶ。しぼりは自動で設定される。



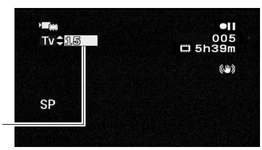


3 押す

Tvを選んだとき

❶ 操作案内が出ているときは、SET を押して消す。

❷ 上下に押して数値を選ぶ。



シャッタースピードを選ぶときの目安

例　画面に「Tv30」と出ているときは、シャッタースピードが「1/30秒」であることを表します。

（動画のとき）	（静止画のとき）	こんなときに使います
1/8、1/15、1/30秒	1/2、1/4、1/8、1/15、1/30秒	少し暗い場所で、被写体を明るく撮影するとき。水の流れなどの流動感を撮影するとき。
1/60秒	1/60秒	一般的な撮影のとき。
1/100秒	1/100秒	屋内でスポーツをしている人を撮影するとき。
1/250、1/500、1/1000秒	1/250、1/500	動きの速い乗り物を撮影するとき。
1/2000秒	―	晴天下でスポーツをしている人を撮影するとき。

MEMO

Tv のとき

- 暗いところでスローシャッターを使うと明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化したり、ピントが自動では合いにくいことがあります。
- 高速シャッターでは、映像がちらついて、なめらかに見えないことがあります。
- 蛍光灯下で動画を撮影するとき、画面のちらつきがとれない場合は、**Tv** を選んでから1/100秒を選んでください。
- AEはAutoExposure（自動露出）、TvはTime value（時間量）の略です。
- 数値が点滅するときは、適正な明るさになっていません。数値が点滅しなくなるまで、シャッタースピードを調整してください。

暗いところで撮る　ミニビデオライト

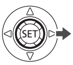
暗いところで撮影する場合、ミニビデオライトを使って被写体を明るく撮影できます。

モードダイヤル　かんたん　応用



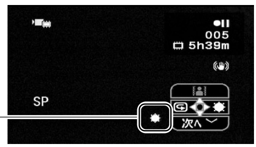
1 SET を押す

- 操作案内が出る。☼が表示されないときは、ジョイスティックを下に押す。



2 右（☼）に押す

- もう一度右に押すと、消灯する。



点灯中は☼が出る。

セルフタイマーを使う

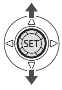
自分を入れて撮影するときに便利です。約10秒後に撮影が始まります。

モードダイヤル　かんたん　応用

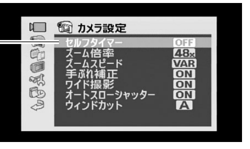
FUNC.

1 押す

- 動画を撮影しているときは、撮影一時停止中に操作する。



2 セルフタイマーを選ぶ



❶ （メニュー）→「カメラ設定」→「セルフタイマー」を選ぶ→ SET を押す。
❷「入」を選ぶ→ SET を押す。

解除するとき

「切」にする。

FUNC.

3 押す

- 画面に が出る。



4 動画の場合 押す

- 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる（リモコンの場合は2秒）。



静止画の場合 浅く押し続け、深く押す

- 浅く押し続けるとピントが合う。
- 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる（リモコンの場合は2秒）。

MEMO
- 撮影開始までの時間が出ているときに、スタート/ストップボタン（動画のとき）やPHOTOボタン（静止画のとき）を押すか、電源を切ると、セルフタイマーは解除されます。

明るさを調整する　露出

逆光のとき被写体が黒くなったり、強い光が当たったときに白くとんでしまうことがあります。このようなときは明るさ（露出）の調整をします。
撮影モードをFUNC.メニューの「打上げ花火」に設定しているときは、使用できません。

モードダイヤル　かんたん　かんたん　応用

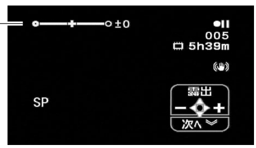


1 SET を押す

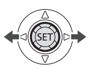
- 操作案内が出る。



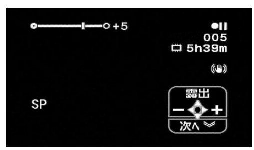
2 露出を選ぶ



❶ 下に押して「露出」の画面を選ぶ。
❷ 上（露出）に押す。
- 明るさによって長さが変わり、調整範囲も変わる。「±0」が出る。
- ズームレバーを動かすと、明るさが変わることがある。



3 露出を調整する



❶ 左右に押す。
❷ SET を押す。
- 画面の明るさが固定され、操作案内が消える。
- もう一度 SET を押してから上（露出）に押すと、自動での露出調整に戻る。

逆光下で撮るときは

窓際や水辺の人物を撮るときなど、逆光下での撮影では一般的に被写体が暗くなります。このようなときは 逆光補正 を押すだけで（逆光補正マークが画面に出る）明るさを補正し、被写体を明るく撮影できます。もう一度 逆光補正 を押すと、逆光補正は解除されます。

ピントを合わせる　フォーカス

自動でピントが合いにくい場合は、ピントの調整をします（マニュアルフォーカス）。なお、ズーム操作はピントを合わせる前に行ってください。

モードダイヤル　かんたん　応用



1 SET を押す

- 操作案内が出る。

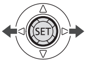


2 フォーカスを選ぶ

❶ 下に押して「フォーカス」の画面を選ぶ。
❷ 上（フォーカス）に押す。



「MF」が出る。



3 ピントを合わせる

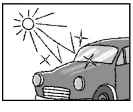
❶ 左右に押し続ける。
- 上に押すと、自動のピント合わせに戻る。

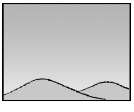
❷ SET を押す。
- ピントが固定され、操作案内が消える。
- もう一度 SET を押してから上（フォーカス）に押すと、自動のピント合わせに戻る。

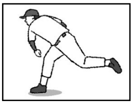
花火や山など、遠くにピントを合わせたいときは

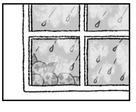
操作2の❶の後に、ジョイスティックを上に2秒以上押し続けてください。画面に∞が表示されます。もう一度、上に押すとピント合わせは自動に戻ります。ジョイスティックを左右に押したり、ズームレバーを押したりすると、手動でのピント合わせに戻ります。

自動でピントが合いにくいときはどんなとき？


強い光が反射


画面の中央に明暗の差がない


動きが速い


水滴が付いているガラス越しの撮影


夜景

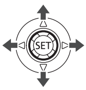
色合いを調整する ホワイトバランス

太陽光や蛍光灯など、周りの光によって白い壁や白い紙などはオレンジっぽくなったり、青っぽくなったりします。撮影時の光に関係なく「白いものを白く」写すように色を調整できます。

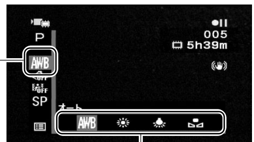
モードダイヤル　かんたん　応用

FUNC.

1 押す



2 目的のホワイトバランスを選ぶ

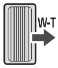


❶ 上下に押してAWBを選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

AWB オート	通常はAWB（オート）を選択。自動的に自然な色合いに調整される。
太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択。
電球	電球や電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
セット	上記のモードで対応できない場合は（セット）を選ぶ。さまざまな光の下で、白いものを白く写すように調整するとき。

(セット)を選んだとき



❸ 白紙、白布を写す。

右側(T)にして、画面いっぱいに写す。



❹ SET を押す。

が点滅→点灯に変わったら調整完了。調整内容は電源を切っても記憶されている。

FUNC.

3 押す

MEMO

(セット)を選んで調整するとき

- 明るさが十分な場所で操作してください。
- メニューの「ズーム倍率」を「光学」または「アドバンスト」にしてください(□ 63)。
- 光が変わったときは再調整してください。
- 光によっては、ごくまれに が点滅→点灯に変わらないことがありますが、自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されていますのでそのままお使いください。

AWB(オート)でうまくいかないとき

つぎのような条件で撮影するとき、画面の色が不自然であれば (セット)で調整をしてください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影
- クローズアップ撮影
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影
- 水銀灯や一部の蛍光灯のもとでの撮影

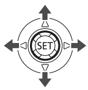
好みの画質にする　画質効果

肌をなめらかに表現してきれいに撮影したり、コントラストに強弱を付けて撮影したりすることができます。

モードダイヤル　　かんたん　かんたん　応用



1 押す



2 目的の画質効果を選ぶ

❶ 上下に押して OFF を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。



OFF	画質効果切	画質効果を使わないとき。
V	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調。
N	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑える。
SD	美肌	肌をなめらかに表現して、きれいに見せる。



3 押す

場面の切り換えと特殊効果 デジタルエフェクト

映像の始まりと終わりを演出するフェーダーや、色を変えるエフェクトを使って、思い出のシーンや静止画にひと工夫加えてみましょう。静止画のときは「シロクロ」と「セピア」のみ使用できます。

フェーダー

映画のようにシーンの始まりと終わりを演出します。

F1 オートフェード



F2 ワイプ



エフェクト

シロクロやセピアにして雰囲気を出したり、絵画のようなイメージにすることができます。

E1 シロクロ



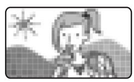
E2 セピア



E3 アート



E4 モザイク

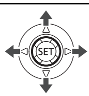


モードダイヤル　* ｜ かんたん　かんたん　応用

* 静止画のときはエフェクトの「シロクロ」と「セピア」のみ使用できます。

FUNC.

1 押す



2 目的のデジタルエフェクトを選ぶ

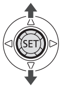
❶ 上下に押して　を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

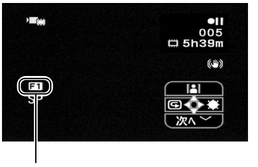


FUNC.

3 押す



4 デジタルエフェクトを有効にする



緑色に変わる。

❶ SET を押す。

- 操作案内が出る。が表示されないときは下に押す。

❷ 上()に押す。

デジタルエフェクトを無効にするとき

上()にもう一度押す。



5 動画撮影時 押す

- 撮影一時停止中(●❚❚)にフェーダーを使うと、映像と音声が徐々に出る。撮影中(●)に使うと、映像と音声が徐々に消えて、撮影一時停止になる。



静止画記録時 押す

- 静止画が「シロクロ」または「セピア」で記録される。

MEMO

- 一度設定したデジタルエフェクトは、電源を切ったり、撮影モードを変更しても記憶されています。

画面の表示を切り換える

画面に表示する撮影情報を切り換えられます。

モードダイヤル　かんたん　応用

DISP./バッテリー情報



1 押す

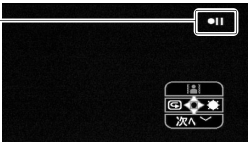
- 撮影情報が表示される。
- 表示される情報は、押すたびに切り換わる。

例： 動画撮影中の場合



すべて表示

●や●IIは表示される。



表示なし

- 表示される内容や切り換わりかたは、モードダイヤルの位置によって異なります。

動画撮影中	すべて表示 → 表示なし*
動画再生中	すべて表示 → メニューの「データコード」の設定情報を表示 → 表示なし
静止画撮影中	すべて表示 → 表示なし*
静止画再生中	すべて表示 → 記録枚数、日時、画質などを表示 → 表示なし

* メニューで設定した「マーカー」は表示される。

データコードとは？

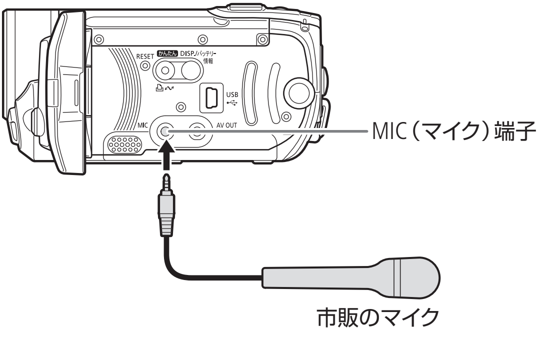
画面に表示される日時やシャッタースピードなどの撮影情報を「データコード」といいます。動画再生時に表示されるデータコードは切り換えられます（📖 67）。

外部マイクを使う

とらえたい音声を確実に記録したいときや音を録る範囲を指定したいときなどは、目的に応じた市販のマイクを使用することで、音の表現がより豊かになります。

モードダイヤル　かんたん　かんたん　応用

■ MIC（マイク）端子に接続する



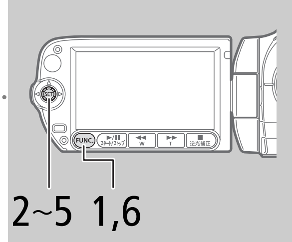
ご注意

- 市販のマイクの音声が入力されていることをレベルメーターで確認してください（□ 67）。

MEMO

- 市販のマイクを使うときは、電源内蔵タイプのコンデンサーマイクをお使いください。端子の直径が3.5mmのステレオマイクであれば、ほとんどが使用できます。音量は内蔵マイクと異なります。
- 外部マイク接続中、メニューで設定した「ウィンドカット」は自動的に「切」になります。

メニューの設定を変える

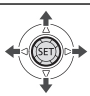


本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定をメニューから変更できます。かんたんボタンを押して応用モード（ボタンが消灯）にしたときに操作します。かんたんモード（点灯）のときは、一部の機能を除いてご購入時の設定になります。

例 「おしらせ音」を「切」に設定する

FUNC.

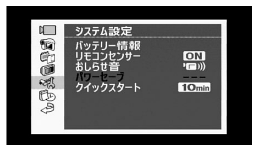
1 押す



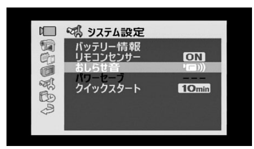
2 上下左右に押して（メニュー）を選び、SET を押す



3 上下に押して項目を選び、SET を押す



4 上下に押して機能を選び、SET を押す



5 上下に押して設定内容を選び、SET を押す



FUNC.

6 押す

MEMO

- FUNC.ボタンを1秒以上押したり、リモコンのMENUボタンを押してもメニューを表示できます。
- FUNC.ボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、黒色で表示されます。

■ メニューの紹介

設定できる機能は、モードダイヤルの位置により異なります。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。欄が「－」になっている機能は、欄外の説明をご参考ください。

カメラ設定

機能	設定内容	動画	静止画	参照ページ
セルフタイマー	ON 入 、**OFF 切**	●	●	51
ズーム倍率	37x 光学、48x 55x **アドバンスト**、2000x デジタル	●		－
ズームスピード	VAR **可変速**、スピード3、スピード2、スピード1	●	●	33
手ぶれ補正	ON **入**、OFF 切	●		－
ワイド撮影	ON **入**、OFF 切	●		－
フォーカス優先	AiAF **入：AiAF**、入：中央固定、OFF 切		●	－
静止画確認時間	OFF 切、2sec **2秒**、4sec 4秒、6sec 6秒、8sec 8秒、10sec 10秒		●	－
オートスローシャッター	ON **入**、OFF 切	●	●	－
ウィンドカット	A **オート**、OFF 切	●		－

ズーム倍率

ズーム倍率を選びます。

光学	画質を損なうことなくズームできます。
アドバンスト	最適な画質になるデジタル処理をするため、きれいな画質のままズームできます。光学ズーム機能も保持されます。
デジタル	光学ズーム領域を越えると、自動的にデジタルズームになります。映像をデジタル処理するため、拡大するほど映像が粗くなります。

- ズーム表示は、1倍から48倍までは白色、48倍から2000倍までは水色になります。

手ぶれ補正

ズームの望遠側で撮影するときなど、手ぶれの少ない安定した画面で撮影できます。

- 手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- 三脚などを使って撮影するときは、手ぶれ補正を切ることをおすすめします。

ワイド撮影

テレビに合わせて、撮影する画面の比率を16：9と4：3で切り換えます。

フォーカス優先

PHOTOボタンを浅く押したときに表示されるピントを合わせる枠（AF枠）の選びかたを変えられます。

入:AiAF	撮影状況によって、9つの枠の中から、自動でピントを合わせる枠を選びます。
入:中央固定	9つの枠の中央にピントを合わせます。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利です。
切	PHOTOボタンを押してすぐに記録したいときに選びます。

- 撮影モードをFUNC.メニューで「打上げ花火」に設定しているときは、自動的に「切」になります。

静止画確認時間

メモリーに静止画を記録した直後に、静止画を確認する時間を変えます。

- ドライブモードで「連写」、「高速連写」、「AEB」を選んでいると、静止画確認時間は設定できません。
- 静止画確認時間中にDISP.ボタンを押すと、静止画が表示され続けます。PHOTOボタンを浅く押すと、撮影状態に戻ります。

オートスローシャッター

暗めの室内など明るさが不足する場所でスローシャッターを使って明るく撮影します。

- 動画撮影時は1/30秒、静止画記録時は1/15秒までのスローシャッターになります。
- 応用モードの「P（プログラム AE）」のときに設定できます。かんたんモードに切り換えても設定は変わりません。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。
- 画面に （手ぶれ警告）が出たときは、三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。

ウィンドカット

風の影響を受ける屋外で撮影する際、風の「ボコボコ」という音の影響を自動的に低減できます。

- 低い音の一部も風の音と一緒に低減されますので、風の影響を受けない場所や低い音まで収録する場合は、設定を解除することもできます。

メモリー実行

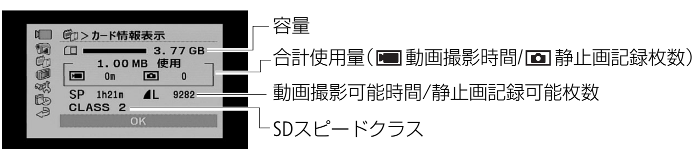
機能	設定内容	📹	📹▶	📷	📷▶	📖
内蔵メモリー情報表示	–	●	●	●	●	–
カード情報表示	–	●	●	●	●	–
動画記録	内蔵メモリー、カード	●		●		26
静止画記録	内蔵メモリー、カード	●		●		26
印刷指定全消去	いいえ、はい				●	100
送信指定全消去	いいえ、はい				●	112
静止画全消去	いいえ、はい				●	82
動画全消去 *1	いいえ、はい		●			43
プレイリスト全消去 *2	いいえ、はい		●			72
初期化	内蔵メモリー、カード、キャンセル ➡初期化、完全初期化、キャンセル	●	● *1	●	●	27

*1 オリジナルのときのみ
*2 プレイリストのときのみ

内蔵メモリー情報表示 / カード情報表示

内蔵メモリーやカードの容量と使用量、記録可能容量を確認できます。カードの場合はSDスピードクラスも確認できます。

- 動画記録可能時間と静止画記録可能枚数は、現在設定している動画の録画モードや静止画の画質/サイズによって算出されます。
- 静止画の場合、画面には最大「9999」枚まで表示されます。



* カード情報表示の画面を載せています。

表示設定

機能	設定内容	撮影（動画）	再生（動画）	撮影（写真）	再生（写真）	参照
液晶明るさ調整	（明るさ調整バー）	●	●	●	●	–
レベルメーター	ON 入、**OFF 切**	●				–
オンスクリーン	**ON 入**、OFF 切	●		●		–
データコード	日付、時刻、**日付&時刻**、カメラデータ		●			–
マーカー	**OFF 切**、W 水平（白）、G 水平（グレー）、W グリッド（白）、G グリッド（グレー）	●		●		–
言語	**日本語**、ENGLISH（英語）	●	●	●	●	–
カレンダー指定	土曜、**日曜**、月曜		●			–

液晶明るさ調整

液晶画面の明るさを調整します。

- ジョイスティックを左右に押して、調整します。
- メモリーに記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。

レベルメーター

録音時の音量を確認できるレベルメーターを表示します。



小←音量→大

オンスクリーン

液晶画面に表示される情報を、ステレオビデオケーブルで本機と接続したテレビの画面に表示します。

データコード

日付や時刻、カメラデータ（シャッタースピードやしぼり数値）の表示のしかたを切り換えます。

マーカー

画面に水平線や格子状の線（グリッド）が表示されます。被写体が水平/垂直になっているかを確認しながら撮影できます。

- 撮影された動画や静止画には表示されません。

言語

画面に表示される言語を変えます。

- メニューに表示される SET と FUNC. は、変わりません。

カレンダー指定

カレンダー表示の開始曜日を変更できます。

システム設定

機能	設定内容	動画撮影	動画再生	静止画撮影	静止画再生	📖
バッテリー情報	–	●	●	●	●	–
リモコンセンサー	ON 入、OFF 切	●	●	●	●	–
おしらせ音	**大**、小、OFF 切	●	●	●	●	–
パワーセーブ	ON **入**、OFF 切	●	●	●	●	–
スピーカー音量	、		●			36
クイックスタート	OFF 切、10min **10分**、20min 20分、30min 30分	●		●		–
テレビタイプ	4:3 ノーマルテレビ、16:9 **ワイドテレビ**		●		●	–
USB接続指定	DVDライター、パソコンなど、**接続時に選択**		●		●	–
ディスク作成指定	**全シーン**、未作成シーン、プレイリスト		●			103
	全ての静止画、送信指定静止画				●	103
静止画番号	オートリセット、**通し番号**			●	●	–
FIRMWARE	–				●	–

バッテリー情報

バッテリーの残量(%)と撮影/再生可能時間(分単位まで)を確認できます。

リモコンセンサー

リモコンの信号を受け付けるかどうかを設定します。

おしらせ音

電源を入れたり、セルフタイマーを使うときなどに音が鳴ります。

パワーセーブ

バッテリーを使用時、約5分間何も操作をしないと、省電のために電源が切れます。

- 電源が切れる約30秒前に、「⚠AUTO POWER OFF」が表示されます。
- スタンバイ中は、メニューの「クイックスタート」で設定した時間で電源が切れます。
- コンパクトパワーアダプターを接続しているときは設定できません。

クイックスタート

スタンバイ中に何も操作しないと、設定した時間で節電のために電源が切れます。

- 「切」にすると、クイックスタート機能は使用できなくなります。

テレビタイプ

接続するテレビに合わせて選びます。映像の縦・横の比率を正しく再生します。

ノーマルテレビ	4:3のノーマルテレビに接続するときに選ぶ。
ワイドテレビ	16:9のワイドテレビに接続するときに選ぶ。

- テレビタイプの設定を4:3にして、16:9で撮影した映像を再生すると、液晶画面に表示される映像が小さくなります。

USB接続指定

USBケーブルで他の機器とつないだときの動作を選びます。

DVDライター	DVDライターDW-100（別売）とつなぐとき。
パソコンなど	パソコンやプリンターとつなぐとき。
接続時に選択	USBケーブルをつなぐたびに、相手がDVDライターDW-100（別売）か、それ以外かを選びたいとき。

静止画番号

静止画番号の付けかたを選びます。

オートリセット	静止画番号は101-0101から始まる。すでに静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。
通し番号	静止画番号は、最後に記録した静止画の続き番号から始まる。静止画番号の方が大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

- 記録された静止画は、自動的に0101～9900までの静止画番号が付き、1つのフォルダーに100枚ずつ保存されます。それぞれのフォルダーには、101～998までの番号が付きます。
- 例えば「101-0107」という静止画番号の場合、「DCIM¥101CANON」というフォルダーにある「IMG_0107.JPEG」という静止画を指します。
- 通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。

FIRMWARE

ビデオカメラの、現在のバージョンを確認できます。

- 通常は黒色で表示されます。

日時設定

機能	設定内容	動画撮影	動画再生	静止画撮影	静止画再生	参照ページ
エリア/サマータイム	–	●	●	●	●	22
日付/時刻	–	●	●	●	●	22
日時スタイル	**Y.M.D（2008.1.1 AM12:00）**、M.D,Y（JAN. 1, 2008 12:00AM）、D.M.Y（1. JAN. 2008 12:00AM）	●	●	●	●	–

日時スタイル

日時の表示のしかたを変えます。印刷時にも適用されます。

プレイリストを作る

プレイリストとは再生（プレイ）したい順にシーンを並べた一覧（リスト）のことです。お好みのシーンを集めて自分だけのアルバムができます。プレイリストのシーンを編集しても、オリジナルデータは変わりません。オリジナルデータの1つのシーンまたは撮影したある日のすべてのシーンをプレイリストに追加できます。

モードダイヤル

1 シーンを選ぶ

- 撮影したある日のすべてのシーンを追加する場合は、その日のシーンの内の1つを選ぶ。

2 押す

FUNC.

3 （プレイリスト追加）を選び、SET を押す

4 項目を選ぶ



❶「この日の全シーン」または「1シーン」を選ぶ→ SET を押す。

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

- 現在インデックス画面を表示しているメモリーのプレイリストに追加される。
- 追加したシーンを確認するときは、プレイリストに切り換える（ 37）。

MEMO

- 内蔵メモリーとカード両方のシーンを同じプレイリストに追加するときは、まず追加したい内蔵メモリーのシーンをカードにコピーし（ 74）、次にカードのシーンを選んでプレイリストに追加します。
- 他機で記録や編集をしたシーンはプレイリストに追加できないことがあります。またメモリーの空き容量が少ないときは、シーンを追加できません。

プレイリストのシーンを消す

プレイリスト内の不要なシーンを消すことができます。1シーンだけを消す方法のほかに、全シーンをまとめて消す方法もあります。

モードダイヤル

■ ひとつのシーンを消す

1 プレイリストのインデックス画面に切り換える

参考 ▶▶ 37ページ

2 シーンを選ぶ

3 FUNC. 押す

4 シーンを消す

❶ 🗑（消去）を選ぶ→ SET を押す。

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

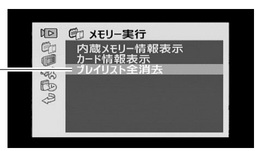


■ すべてのシーンをまとめて消す

1 FUNC. 押す

2 全シーンを消す

❶ ☰（メニュー）→「メモリー実行」→「プレイリスト全消去」を選ぶ→ SET を押す。



❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

- 現在表示しているメモリーのプレイリストのシーンがすべて消える。

3 FUNC. 押す

プレイリストのシーンを並べ換える

プレイリスト内のシーンをお好みの順に並べ換えられます。

モードダイヤル

1 プレイリストのインデックス画面に切り替える

参考 ▶▶ 37ページ

2 シーンを選ぶ

3 押す

FUNC.

4 (移動)を選び、SET を押す

5 移動する位置を選ぶ

❶ バーを移動する位置に動かす→ SET を押す。



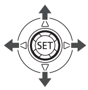
❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

MEMO
- メモリーの空き容量が少ないとプレイリストのシーンの並べ換えができないことがあります。

ビデオをコピーする

内蔵メモリーからカードにのみ動画をコピーできます。1つのシーン、撮影したある日のすべてのシーン、または記録されたすべてのシーンをコピーできます。プレイリストの場合は、すべてのシーンをまとめてコピーする方法のみになります。

モードダイヤル

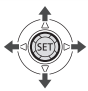


1 内蔵メモリーのシーンを選ぶ

- 撮影したある日のすべてのシーンをコピーする場合は、その日のシーンの内の1つを選ぶ。
- 全シーンをコピーするときは操作1は不要。

FUNC.

2 押す



3 コピーする

❶ (コピー[➔])を選ぶ→ SET を押す。

❷「全シーン」、「この日の全シーン」または「1シーン」を選ぶ→ SET を押す。

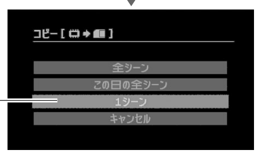
- プレイリストのときはこの操作は不要。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

中止するとき SET (中止)を押す。

❹ SET (OK)を押す。





FUNC.

4 押す

ご注意

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - モードダイヤルを切り換えない。

MEMO

- コピー先の空き容量が足りない場合、コピーできません。
- カードカバーが開いていたり、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているときはコピーできません。

ビデオ　編集する

Chapter

3

写真

Taking and Viewing Photos

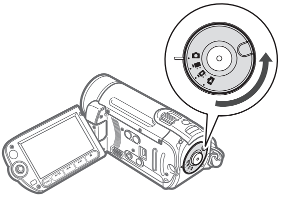


写真を撮る

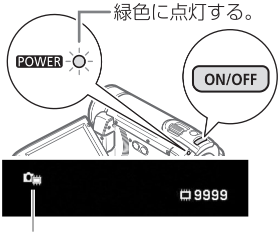
基本的な静止画の撮りかたです。

静止画は内蔵メモリーとカードに記録できます。

1 にする



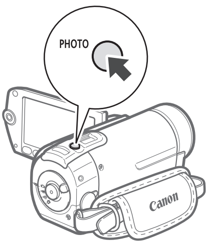
2 ONにする



または が表示される。

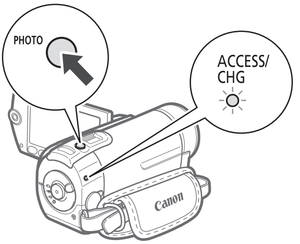
- カードに記録するとき（ 26）。

3 浅く押し続ける



- ピントを調整し、終わるとが緑色になって緑色の枠が出る。
- リモコンのPHOTOボタンを押したときは、ピントを調整後すぐに静止画が記録される。

4 深く押す



- ACCESSランプが点滅。

ご注意

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - モードダイヤルを切り換えない。

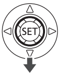
MEMO

- 自動でピントが合いにくい被写体の場合は、が黄色くなります。手動でピントを調整してください（ 53）。

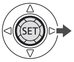
■ いま撮った写真を消す

メニューで設定した静止画確認時間中にいま撮った静止画を消せます。静止画確認時間（ 64）を「切」に設定したときは記録直後に消します。単写で記録しているときに操作します。

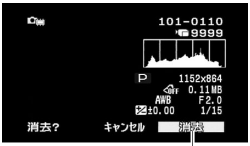
モードダイヤル　かんたん　応用



1 記録直後または静止画確認時間中 下（）に押す



2 静止画を消す



「消去」を選ぶ→ を押す。

画質やサイズを選ぶ

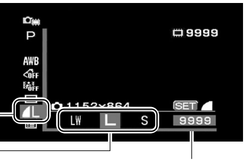
静止画のサイズは、高画質で撮るときは大きく、枚数を多く撮るときは小さく設定しましょう。**LW**を選ぶと、ワイド画面で撮影できます。

モードダイヤル　かんたん　応用

FUNC.

1 押す

2 静止画のサイズを選ぶ



❶ 上下に押して◢Lを選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ→ SET を押す。

記録できる枚数の目安

3 画質を選ぶ



いずれかを選ぶ。

FUNC.

4 押す

MEMO

- 画質やサイズ、撮影条件や被写体により、記録できる静止画の枚数は異なります。
- かんたんモードに切り換えても設定した画質やサイズは変わりません。

カードに記録できる枚数の目安

サイズ	L 1152×864			LW 1152×648			S 640×480		
画質	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
128MB	185	280	545	245	360	695	585	850	1530
512MB	735	1115	2155	970	1435	2740	2320	3350	6035
1GB	1470	2235	4315	1945	2875	5490	4645	6710	12085*

*画面には「9999」と出ますが、実際は表の枚数の目安まで記録できます。

：スーパーファイン、 ：ファイン、 ：ノーマル

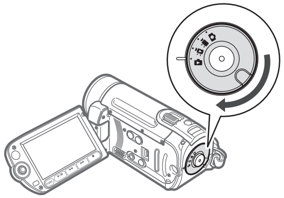
静止画サイズによって用途が異なります。

L 1152×864 ：Lサイズまたはポストカードサイズで印刷するとき
LW 1152×648：ワイドサイズの用紙に印刷するとき
S 640×480 ：電子メールで添付するときやWeb用

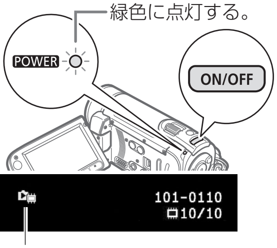
写真を見る

撮った静止画を見てみましょう。

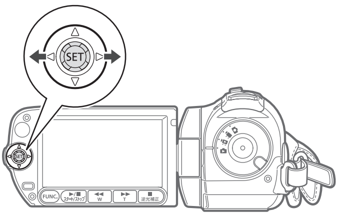
1 ▶ にする



2 ONにする



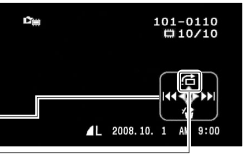
3 静止画を選ぶ



- 押し続けると連続して探せる。

■ 10枚/100枚ごとに探す

静止画を10枚または100枚ごとに飛ばして表示できます。



❶ ジョイスティックの SET を押して、操作案内を出す。

❷ 上（ ）に押す。

❸ 左右に押す。



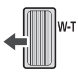
- 10枚ごとにジャンプする。上下に押すたびに10枚ごと/100枚ごとのジャンプに切り換わる。
- SET を押すと終了する。

ご注意

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - モードダイヤルを切り換えない。
- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
  - 本機以外の製品で記録したとき。
  - パソコンで作成や加工をしたとき。
  - パソコンでファイル名を変更したとき。

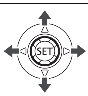
■ インデックス画面から選ぶ

モードダイヤル



1 左側(W)に押す

- インデックス画面に切り換わる。



2 静止画を選ぶ

- オレンジ色の枠を、再生したい静止画に合わせる。



表示するインデックス画面を切り換えるとき（📖 37）

インデックス画面をページごと送るとき

[◀◀ W] または [▶▶ T] を押し続け、目的のページで離す。

- インデックス画面全体に枠が出る。



3 (SET) を押す

- 選んだ1枚の静止画が画面に出る。

写真を消す　静止画消去

■ 1枚の静止画を消す

モードダイヤル

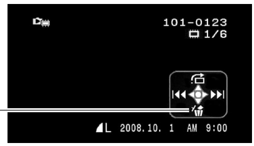
1 (SET) を押す

- 操作案内が出る。

2 静止画消去を選ぶ

❶ 下（⁄🗑）に押す。

❷ 右に押して「消去」を選ぶ → (SET) を押す。



■ すべての静止画をまとめて消す

モードダイヤル

1 (FUNC.) 押す

2 静止画全消去を選ぶ

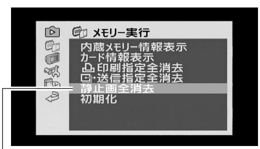
❶ ☰（メニュー）→「メモリー実行」を選ぶ→ (SET) を押す。

❷ 「静止画全消去」を選ぶ → (SET) を押す。

❸ 「はい」を選ぶ→ (SET) を押す。

- 現在表示中のメモリーの静止画がすべて消える。

❹ (SET) (OK)を押す。



3 (FUNC.) 押す

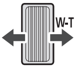
ご注意

- **一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。**
- プロテクトされている静止画は消せません。

写真を拡大して見る　再生ズーム

静止画を再生中にズームレバーを押すと、最大5倍まで拡大できます。拡大できない静止画のときは、 が表示されます。

モードダイヤル

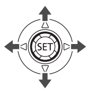


右側（T）に押す

- 拡大した静止画を縮小したいときは左側（W）に押す。

静止画を上下左右に動かす

拡大した後、静止画を上下左右に移動できます。

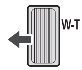




上下左右に動かすと静止画が動く。

画面の拡大をやめる

拡大表示枠が消えるまで左側（W）に押し続けます。





この枠が消えるまで押し続ける。

連写する

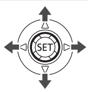
ドライブモード

運動会で走る子供を連続して静止画で記録したり、子供の表情を自動的に3段階の明るさにして撮ったりできます。
撮影モードをFUNC.メニューの「打上げ花火」に設定しているときは操作できません。

モードダイヤル　かんたん　かんたん　応用

FUNC.

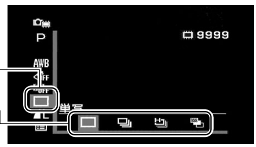
1 押す



2 設定する内容を選ぶ

❶ 上下に押して □ を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。



□	単写	1枚の静止画を撮影。
	連写	連続撮影。
	高速連写	高速の連続撮影。
	AEB	標準、暗め、明るめの順で3枚の静止画を連続撮影。撮影後、最適な明るさを簡単に選べる。

FUNC.

3 押す



4 浅く押す

- ピントを合わせる。



5 **連写/高速連写の場合** 深く押し続ける

AEBの場合 深く押す

写真
こだわって撮る／見る（応用編）

MEMO

1回の連写で記録できる最大枚数の目安

1秒あたりの記録枚数		連続記録可能枚数		
連写	高速連写	L(1152×864)	LW(1152×648)	S(640×480)
約3枚	約5枚	10枚	10枚	20枚

* 枚数は撮影条件や被写体によって変わります。スローシャッター(1/30秒以下)のときは、1秒あたりの連写枚数が少なくなります。

- AEBはAuto Exposure Bracketing（オート エクスポージャー ブラケッティング）の略。

順番に再生する　スライドショー

静止画を順番に再生します。テレビにつないで家族や友人と見るときなどに便利です。

モードダイヤル

1 静止画を選ぶ

- スライドショーを始める静止画を選ぶ。

2 押す

スライドショーが始まる。

スライドショーを止めるとき

（逆光補正）を押す。

写真の明るさを図で確認する

ヒストグラム

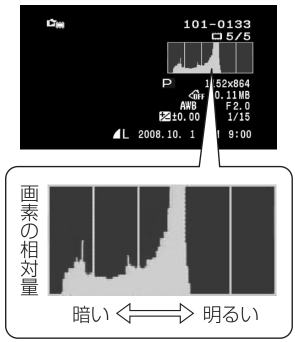
撮影した静止画の明るさを確認して、撮影するときの明るさの目安にしましょう。この明るさの図を「ヒストグラム」といいます。画素の相対量が図の右側に多いと明るく、左側に多いと暗いことを表しています。ヒストグラムの表示は、DISP.ボタンを押して消せます。

モードダイヤル



1 押す

- 押すたびに表示が切り換わる。
  ヒストグラムなどのすべての表示→記録枚数、日時、画質などの表示→表示なし。



MEMO
- ヒストグラムは静止画記録モード時、メニューで設定した静止画確認時間中にも表示されます。（記録直後にDISP.ボタンを押して、画面表示を消している場合を除く）

写真でも使える便利機能

静止画記録時でも、動画のときと同じようにズームやセルフタイマーを使ったり、明るさを調整したりできます。

33 拡大して撮る
ズーム

光学ズームによって37倍まで拡大して撮影（望遠撮影）できます。

34 撮影チャンスを逃さない
クイックスタート

液晶画面を閉じると省エネ状態で待機します。再び開くと、約1秒で撮影可能状態に戻ります。

46 場面に合わせて撮る
スペシャルシーンモード（SCN）

海に沈む夕日や夜空を彩る打上げ花火など、場面に合わせてきれいに撮影します。

48 動きの速いものを撮る
シャッタースピード

被写体に合わせてシャッタースピードを調整できます。

50 暗いところで撮る
ミニビデオライト

暗いところで撮影する場合、ミニビデオライトを使って被写体を明るく撮影できます。

51 セルフタイマーを使う

PHOTOボタンを押してから約10秒後に撮影されます。自分自身を撮影するときなどに便利です。

52 明るさを調整する

露出

逆光時や、強い光が当たる被写体を撮影するときなどは明るさの調整をします。

53 ピントを合わせる

フォーカス

夜景など自動でピントが合いにくい被写体を撮影するときは手動でピントを調整します。

54 色合いを調整する

ホワイトバランス

撮影時の光に関係なく「白いものを白く」写すように色調整することができます。

56 好みの画質にする

画質効果

コントラストを付けたり、肌をなめらかに表現したりするなどの効果を付けて撮影できます。

57 場面の切り換えと特殊効果

デジタルエフェクト

シロクロやセピア色にして、思い出の静止画にひと工夫加えることができます。

61 メニューの設定を変える

さまざまな機能がメニューから設定できます。設定方法は61ページに、機能紹介は62ページ以降をご覧ください。

写真を保護する

画像プロテクト

大切な静止画を誤って消さないように保護します。

モードダイヤル

1 静止画を選ぶ

2 押す

FUNC.

3 プロテクトを選ぶ



❶ (画像プロテクト)を選ぶ→ SET を押す。

❷ SET を押す。

- が出る。

他の静止画を保護するとき

左右に押して、SET を押す。

設定を解除するとき

もう一度 SET を押す。

4 2回押す

FUNC.

ご注意

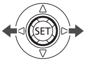
- プロテクト設定をしても、メモリーを初期化するとすべてのデータは消えます。

写真をコピーする

内蔵メモリーとカードの間で静止画をコピーできます。コピーは両方向できます。

■ 1枚の静止画をコピーする

モードダイヤル

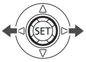


1 静止画を選ぶ

● 静止画の1枚表示画面でコピーする静止画を選ぶ。

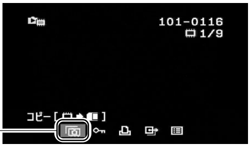
FUNC.

2 押す



3 コピーする

❶ (コピー[→])を選ぶ→ SET を押す。



❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

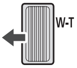
FUNC.

4 押す

■ すべての静止画をまとめてコピーする

すべての静止画をまとめてコピーする方法です。インデックス画面から1枚の静止画を選んでコピーすることもできます。

モードダイヤル



1 左側(W)に押す

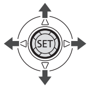
● インデックス画面に切り換わる。

1枚の静止画をコピーするとき

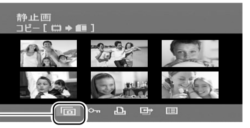
コピーする静止画を選ぶ。

FUNC.

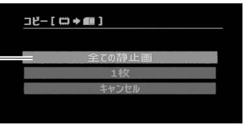
2 押す



3 コピーする



❶ (コピー[→])を選ぶ→ SET を押す。



❷「全ての静止画」を選ぶ→ SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

中止するとき

SET (中止)を押す。

❹ SET (OK)を押す。

1枚の静止画をコピーするとき

❷で「1枚」を選ぶ→ SET を押す。

ご注意

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - モードダイヤルを切り換えない。

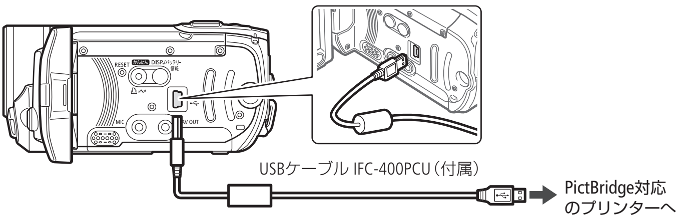
MEMO

- コピー先の空き容量が足りない場合、コピーは中断されます。
- カードカバーが開いていたり、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているときはカードへコピーできません。

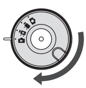
写真を印刷する

本機に直接、別売のPictBridge対応プリンターを接続できます。パソコンなしで簡単な操作で印刷できます。印刷指定すると連続で印刷できます（📖 98）。
キヤノン製プリンターの場合は、PictBridge対応のSELPHY CP/ES/DSシリーズやPIXUSシリーズを使用できます。

■ プリンターとつなぐ PictBridge



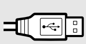
モードダイヤル



1 本機 ▶ にする

- インデックス画面が表示されている場合は、ズームレバーを右側（T）に押して1枚の静止画を表示する。

2 プリンター 電源を入れる



付属のUSBケーブル

3 本機とプリンターをつなぐ

- 本機の画面に ⭠ が点滅した後、 が出る。
- （イージーダイレクト）ボタンが点灯し、現在の印刷設定が約6秒間画面に出る。



「接続機器を選択してください」が出たとき

「パソコンなど」を選び、SET を押す。

ご注意

- 操作3で •⇐ が約1分以上点滅し続ける場合、または 〆 が出ない場合は、ビデオカメラとプリンターから接続ケーブルを抜き、電源を入れ直してからつないでください。
- 静止画全消去中や印刷指定/送信指定の全消去中は、プリンターにつないでも認識されません。

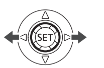
MEMO

- 印刷できない静止画のときは ⊠ が表示されます。
- 本機にコンパクトパワーアダプターをつないで使うことをおすすめします。
- プリンターの説明書もあわせてご覧ください。
- DVDライターを使用しない場合は、メニューの「USB接続指定」を「パソコンなど」にすると、プリンターとつないだときに「接続機器を選択してください」が出なくなります。
- 1800枚以上の静止画があるときは、PictBridge対応プリンターに接続できません。
- プリンター接続時は、静止画を100枚以下にすると快適に操作できます。
- モードダイヤルを切り換えるときは、USBケーブルを抜いてください。

■ 簡単に1枚印刷する

静止画を選んでそのまま1枚印刷するときは、⎙〜 ボタンを押すだけで印刷できます。

モードダイヤル



1 静止画を選ぶ



2 押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻る。
- 印刷中は ⎙〜 ボタンが点滅し、終了すると点灯。

続けてほかの静止画を印刷するとき

左右に押して静止画を選ぶ。

■ 用紙や枚数などを選んで印刷する



日付印刷
画像補正
印刷枚数
用紙設定内容
用紙設定
(用紙サイズ、用紙タイプ、レイアウト)

モードダイヤル



1 操作案内が出ていないとき

SET を押す

- 操作案内が出る。



2 下( )に押す

- 印刷設定画面が出る。



3 設定する項目を選び、SET を押す

用紙設定	用紙サイズ	プリンターによって異なります。
	用紙タイプ	フォト、高級フォト、標準設定、普通紙
	レイアウト	フチなし[*1]、フチあり、2/4/8/9/16面配置、標準設定
（日付印刷）		入、切、標準設定
（画像補正-イメージオプティマイズ）[*2]		入、切、VIVID[*3]、NR[*3]、VIVID+NR[*3]、標準設定
（印刷枚数）		1～99枚

*1 撮影した静止画より若干拡大され、静止画の上下、左右をカットして印刷されることがある。

*2 画像補正機能（イメージオプティマイズ）付きプリンターを使うときのみ

*3 キヤノン製プリンターPIXUS/SELPHY DSシリーズをお使いの場合のみ

4 設定内容を選び、SET を押す

5 「印刷」を選び、SET を押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻る。

続けてほかの静止画を印刷するとき

左右に押して静止画を選ぶ。

印刷を中止するとき

印刷中に SET を押す。確認画面が出たら、「OK」を選び、SET を押す。

印刷が終了したとき

1. USBケーブルを本機とプリンターから抜く
2. 本機の電源を切る

写真

印刷する

印刷中に異常が発生したとき

「用紙がありません」/「用紙が詰まりました」(📖 129)、「インクがありません」(📖 127)などのお知らせ表示が本機の画面に出るので、トラブルを解決する。

キヤノン製のPictBridge対応プリンターの場合

以下のいずれかの操作をする。

- ジョイスティックで「続行」を選んで SET を押す。
- 「中止」を選んで SET を押して印刷し直す。

上記操作をしても再開しない場合

USBケーブルを抜き差しした後、本機の電源を入れ直す。

ご注意

- 他機で記録や作成・加工したり、ファイル名を変更したりした静止画は、PictBridge対応のプリンターで正しく印刷されないことがあります。
- 本機とプリンターをつないでいるときに「処理中...」が長時間表示される場合、USBケーブルを一度抜き、つなぎ直してください。

MEMO

- 設定内容は接続するプリンターによって異なります。「標準設定」は、お使いのプリンターであらかじめ設定されている内容です。詳細については、プリンターの説明書をご覧ください。

「用紙設定」の「レイアウト」で設定できる配置（キヤノン製プリンター）

	カード	L判	はがき	A4
PIXUS/SELPHY DSシリーズ	–	–	2/4/9/16面配置（専用のシール紙にも印刷可能）	4面配置
SELPHY ES/CP シリーズ	2/4/8面配置（8面配置のとき専用のシール紙にも印刷可能）	2/4面配置	2/4面配置	–

* SELPHY CPシリーズの場合は、ワイド用紙を使用して「標準設定」を選ぶと、2/4面配置ができます。

印刷する写真を選ぶ 印刷指定

印刷したい静止画と枚数を指定できます。998枚までの静止画に印刷指定できます。PictBridge対応のプリンターで自動印刷できます。本機にUSBケーブルをつなぐ前に、操作をしてください。

■ 設定する

モードダイヤル

1 静止画を選ぶ

2 押す

FUNC.

3 印刷指定を選ぶ

(印刷指定)を選ぶ→ SET を押す。

4 枚数を選ぶ



❶ SET を押す。

- 枚数がオレンジ色になる。

❷ 上下に押して枚数を選ぶ→ SET を押す。

印刷指定を解除するとき

❷で枚数を「0」にする。

5 2回押す

FUNC.

■ 印刷する

モードダイヤル

付属のUSBケーブル

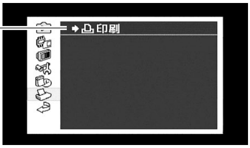
1 本機とプリンターをつなぐ（📖 93）

FUNC.

2 押す

3 印刷を選ぶ

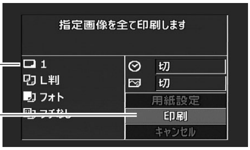
☰（メニュー）→「➡ 🖶 印刷」を選ぶ→ SET を押す。



- 印刷設定画面が出る。
- 印刷指定をしていないときは、「🖶 印刷指定が必要です」が出る。

4 印刷する

- 印刷指定による全印刷枚数が出る。



「印刷」を選ぶ→ SET を押す。

- 印刷が始まり、終了すると再生画面に戻る。

MEMO

印刷を中止するとき（📖 96）

印刷を再開するとき

- FUNC.ボタンを押し、☰（メニュー）→「➡ 🖶 印刷」を選びます。印刷設定画面から「印刷」（1枚目で中断したとき）または「再開」（2枚目以降で中断したとき）を選び、SET を押すと、残りの静止画が印刷できます。
- 印刷を再開する前に印刷指定を変更したり、印刷指定をした静止画を消した場合は再開されません。

- 接続するプリンターによっては、操作3の後に、用紙設定などの印刷設定ができます（📖 95）。

■ すべての印刷指定を消す

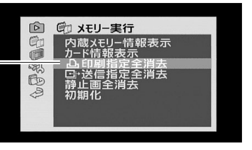
1枚の静止画を再生している時に操作します。

モードダイヤル

FUNC.

1 押す

2 印刷指定全消去を選ぶ



❶ (メニュー)→「メモリー実行」→「 印刷指定全消去」を選ぶ→ SET を押す。

❷ 「はい」を選ぶ→ SET を押す。

- すべての印刷指定が消える。

FUNC.

3 押す

Chapter
4
保存

Copying and Backing up Movies/Photos

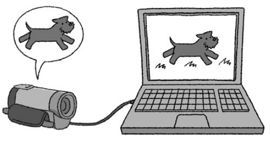


映像をバックアップする

撮影した映像は内蔵メモリーやカードに記録されます。万一に備えてパソコンに保存しましょう。

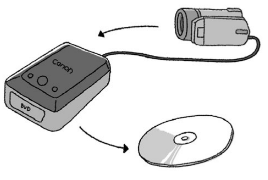
モードダイヤル

■ パソコンに保存する



付属のPIXELA ImageMixer 3 SE（以下ImageMixer 3）を使うと、シーンを選んでパソコンにバックアップできます。パソコンに保存した映像を本機に書き戻したり、ImageMixer 3のアルバムに整理することもできます。詳しくはImageMixer 3の中にある取扱説明書をご覧ください。

■ DVDやビデオ機器などに保存する



パソコンがない場合は次の方法で保存できます。
- DVDライターDW-100（別売）を使用してDVDに保存（📖 103）。
- ビデオ機器、DVD/HDD機器にダビングして保存（📖 106）。

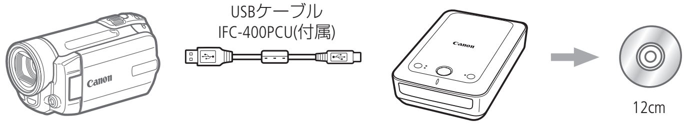
保存

ご注意

- パソコンに接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- 本機に接続したパソコンから本機のメモリー内のフォルダーやファイルを直接操作すると、記録したデータが破損する恐れがあります。映像データをパソコンに保存したり、本機に書き戻したりするときは、付属のImageMixer 3を使って行ってください。

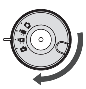
DVDを作る

DVDライターDW-100（別売）を使って、動画または静止画をDVDに保存できます。静止画を保存したDVDを「フォトDVD」といいます。ディスクの取り扱い上のご注意や操作方法については、本書とDVDライターの使用説明書をあわせてご覧ください。





■ 本機の準備をする

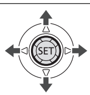


1 にする

フォトDVDを作るとき　にする。

ON/OFF

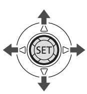
2 ONにする



3 保存するデータがある画面に切り換える

- 内蔵メモリーまたはカードのインデックス画面に切り換える。
- フォトDVDは、静止画を1枚表示している画面で操作することもできる。

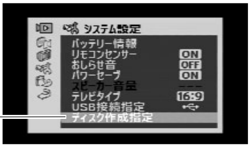
FUNC.



4 保存するデータを指定する

❶ FUNC.ボタンを押す。

❷ （メニュー）→「システム設定」→「ディスク作成指定」を選ぶ→ SET を押す。



❸ いずれかを選ぶ→ SET を押す。

動画:	全シーン	すべてのシーン。
	未作成シーン	DVDに保存したことがないシーン。
	プレイリスト	プレイリスト内のすべてのシーン。
静止画:	全ての静止画	すべての静止画。
	送信指定静止画	送信指定をした静止画（📖 111）。

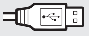
* 現在インデックス画面に表示しているメモリーのシーンや静止画について指定されます。

❹ FUNC.ボタンを押す。

■ DVDに保存する

1 **DVDライター** 電源を入れる

参考 ▶▶ DVDライター使用説明書の「DVDを作成する」



付属のUSBケーブル

2 本機とDVDライターを接続する

参考 ▶▶ DVDライター使用説明書の「接続する」

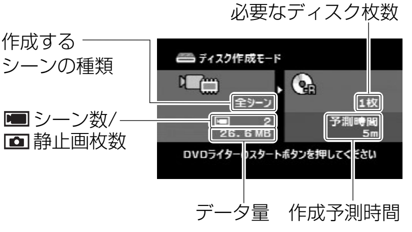
- 「ディスクがありません」が出る。

「接続機器を選択してください」が出たとき

「DVDライター」を選ぶ→ SET を押す。

3 **DVDライター** 未使用のディスクを入れる

❶ OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを開く。
❷ 未使用のディスクを入れる。
❸ OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを閉じる。



「使用済み-RWディスクです」が出たとき

上書きするときは SET を押す→「はい」を選ぶ→ SET を押す。

- 上書きすると記録されていたデータはすべて消去されます。

保存

4 DVDライター スタートボタンを押す

- 本機の画面に書き込み状況が出る。
- スタートボタンを押してディスクの作成を開始した後は中止できません。
- 「終了しました」が出たらディスクを取り出してトレイを閉める。

「未使用のディスクを入れてディスクトレイを閉じてください」が出たとき

❶ 未使用のディスクを入れる。

❷ OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを閉じる。

同じディスクをもう1枚作るとき

未使用のディスクを入れてディスクトレイを閉める。

ご注意

- DVDライターと接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- ビデオカメラのACCESSランプが点滅しているときは、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やDVDライターの電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。

MEMO

DVDを他機で見るとき

作成したDVDは、以下の条件を満たしたDVDプレーヤーやパソコンなどで再生できます。再生できるディスクについては、他の機器の説明書もご覧ください。

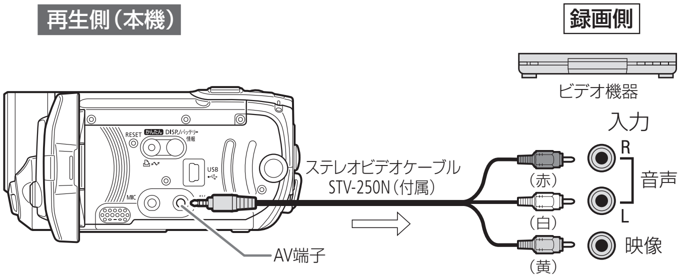
- DVD-R、DVD-R DLまたはDVD-RWに対応。
- DVD-Video規格に対応。
- パソコンの場合、DVD再生ソフトウェアがインストールされていること。

- モードダイヤルを切り換えるときは、USBケーブルを抜いてください。

ほかのビデオ機器へ録画する

本機で撮った動画を映像/音声端子付きのビデオ機器にダビングできます。

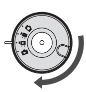
■ 接続する



保存

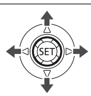
■ 操作する





1 本機 にする

2 録画機 録画一時停止状態にする



3 本機 再生を始めるシーンを選ぶ

▶/II スタート/ストップ

4 本機 押す

- 再生が始まる。
- 本機に表示される日時やカメラデータを入れて録画できる。DISP.ボタンを押すたびに、表示が切り換わる（📖 59）。

5 録画機 録画を開始する場面で、録画を始める

6 録画機 録画を終える

■ 逆光補正

7 本機 押す

- 再生が終わる。

MEMO

- 本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐと、バッテリーの消耗を気にせず録画できます。

パソコンに写真を取り込む　ダイレクト転送

付属のUSBケーブルとDigital Video Softwareを使うと、（イージーダイレクト）ボタンを押すだけで、簡単に静止画をパソコンに転送できます。

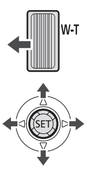
■ 準備する

はじめてビデオカメラをパソコンにつなぐときには、ソフトウェアのインストールと自動起動の設定が必要です。2度目からは、ビデオカメラをパソコンにつなぐだけで、準備は完了です。

モードダイヤル

1 パソコンにDigital Video Softwareをインストールする

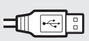
参考 ▶▶ DIGITAL VIDEO Solution Diskスタートガイド



2 取り込む静止画がある画面に切り換える

❶ ズームレバーを左に押す。

❷ 内蔵メモリーまたはカードのインデックス画面に切り換える。



付属のUSBケーブル

3 本機とパソコンをつなぐ

参考 ▶▶ DIGITAL VIDEO Solution Diskの中にある使用説明書の「ビデオカメラをパソコンに接続する」

「接続機器を選択してください」が出たとき

「パソコンなど」を選び、SET を押す。

Windowsのとき

CameraWindowが自動で起動するようにパソコンで設定する。

参考 ▶▶ DIGITAL VIDEO Solution Diskの中にある使用説明書の「CameraWindowを起動する」

- ビデオカメラの画面にダイレクト転送メニューが出て、ボタンが点灯。

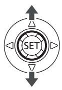
ご注意

- パソコンに接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- ビデオカメラのACCESSランプが点滅しているときは、データが破損することがありますので、次のことを必ず守ってください。
  - カードカバーを開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やパソコンの電源を切らない。
- 使用するソフトウェア、パソコンの仕様/設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- 大切な元のデータを消さないために、静止画は必ずパソコンにコピーし、コピーした静止画をパソコンで使用してください。
- 静止画全消去中や印刷指定/送信指定の全消去中は、パソコンにつないでも認識されません。

MEMO

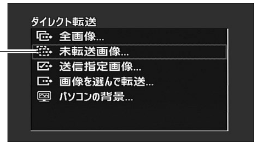
- 本機にコンパクトパワーアダプターをつないで使うことをおすすめします。
- パソコンの説明書もあわせてご覧ください。
- Windows Vista、XPとMac OS Xをお使いの場合、付属のDigital Video Softwareをインストールしなくても、本機とパソコンをUSBケーブルでつなぐだけで静止画をパソコンに取り込めます。
- DVDライターを使用しない場合は、メニューの「USB接続指定」を「パソコンなど」にすると、パソコンとつないだときに「接続機器を選択してください」が出なくなります。
- 静止画の枚数が多いと、パソコンに取り込めないことがあります（Windows：1800枚以上、Macintosh：1000枚以上の場合）。その場合はカードリーダーなどをお使いください。
- モードダイヤルを切り換えるときは、USBケーブルを抜いてください。

■ 静止画を転送する



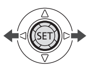
1 転送方法を選ぶ

転送方法を選ぶ。



全画像	すべての静止画。
未転送画像	まだ転送していない静止画。
送信指定画像	送信指定した静止画(📖 111)。
画像を選んで転送	静止画を選んで転送。
パソコンの背景	パソコンのデスクトップの背景にする静止画。

「画像を選んで転送」「パソコンの背景」のとき



❶ SET を押す。

❷ 静止画を選ぶ。





2 押す

- 全画像、未転送画像、送信指定画像の場合、転送された静止画がパソコンの画面に出る。転送を中止するときは、SET（キャンセル）を押す。
- 「画像を選んで転送」の場合は転送された静止画がパソコンの画面に出る。
- 「画像を選んで転送」、「パソコンの背景」の場合、続けて他の静止画を選ぶときは操作1の❷〜操作2を繰り返す。
- 「画像を選んで転送」、「パソコンの背景」の場合、転送中は 🖨〜 ボタンが点滅する。
- FUNC.ボタンを押すと、操作1の画面に戻る。

MEMO

- ビデオカメラとパソコンをつないだときに、静止画を選ぶ画面が出た場合は、FUNC.ボタンを押してください。ダイレクト転送メニューになります。

保存

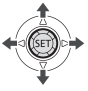
パソコンに送る写真を選ぶ

送信指定

パソコンに転送する静止画を指定できます。998枚までの静止画に送信指定できます。本機とパソコンをUSBケーブルで接続する前に、操作をしてください。

■ 設定する

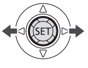
モードダイヤル



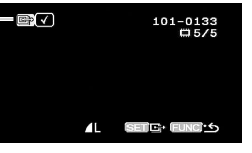
1 静止画を選ぶ

FUNC.

2 押す



3 送信指定を選ぶ



❶ (送信指定)を選ぶ
→ SET を押す。

❷ SET を押す。

● ☑が出る。

他の静止画を指定するとき

ジョイスティックを左右に押して、 SET を押す。

設定を解除するとき

❷でもう一度 SET を押す。

FUNC.

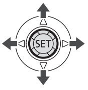
4 2回押す

● 送信指定した静止画をパソコンに転送する場合は108ページをご覧ください。

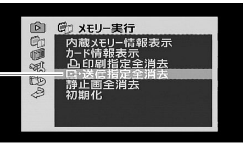
■ すべての送信指定を消す

FUNC.

1 押す



2 送信指定全消去を選ぶ



❶ (メニュー)→「メモリー実行」→「送信指定全消去」を選ぶ→ SET を押す。

❷ 「はい」を選ぶ→ SET を押す。

FUNC.

3 押す

保存

Chapter

5 ふろく

Additional Information



修理に出す前にココを確認

故障かな?

修理に出す前に下記のことをもう一度確認してください。それでも直らないときは、キヤノンサービスセンターまたはご購入になった販売店にご相談ください。



まずココを確認しよう!

電源

- □ バッテリーは充電されていますか?(📖 18)
- □ 本機はコンパクトパワーアダプターで正しく接続されていますか?(📖 18)

撮影するとき

- □ 電源を入れてモードダイヤルを 🎥 または 📷 にしていますか?(📖 30、76)
- □ カードに記録する場合は、本機にカードが入っていますか?(📖 25)

再生するとき

- □ 電源を入れてモードダイヤルを ▶🎥 または ▶📷 にしていますか?(📖 36、80)
- □ カードから再生する場合は、本機にカードが入っていますか?(📖 25)

ふろく

■ 電源

こんなときは	どうするの?	📖
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	18
バッテリーが充電できない。	● バッテリーの温度が40℃以上になっている。バッテリーを放置して、40℃以下になってから充電を開始する。 ● 周囲が0℃~40℃の温度のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。	18

コンパクトパワーアダプターから音がする。	● コンパクトパワーアダプターを使用中に小さな音がすることがある。故障ではない。	—
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使いつづけると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。修理受付センターにご相談ください。	—
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	● バッテリーの寿命と考えられる。新しいバッテリーを購入する。	—

■ 撮影中

スタート/ストップボタンを押しても録画しない。	● 撮影した映像を本機に書き込んでいる間は録画できない。 ● メモリーに空き容量がない。または999シーン記録されている。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。	— 27 42 82
スタート/ストップボタンを押した時点と、記録されたシーンの始めと終わりの時点が異なる。	● スタート/ストップボタンを押してから、実際に録画が始まったり終わったりするまでに、時間差が多少かかることがある。故障ではない。	—
ピントが合わない。	● 被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ● レンズが汚れているのでお手入れする。	53 139
キラキラ光っていたり、極端に明るい被写体を撮影すると、縦に帯が出る。	● CCDのスミア現象で、故障ではない。	—

こんなときは	どうするの？	📖
動画の「●撮影/●II撮影一時停止/▶再生」の切り換えに時間がかかる。	● シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	27 102 108
直前のシーンの確認に時間がかかる。		
動画や静止画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	27 102 108

■ 再生中

プレイリストに追加できない。	● プレイリストには99シーンまたは100時間分のシーンまでしか追加できない。 ● 他機で記録や編集をしたシーンは追加できないことがある。	—
シーンの消去ができない。	● 他機で記録や編集をしたシーンは消去できないことがある。	—
シーンの消去に時間がかかる。	● シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	27 102 108
静止画を消せない。	● 静止画のプロテクト設定を解除する。	90

■ 表示やランプ

画面で ▱ が赤く点灯する。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	18
画面に ? が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	—

🄲 が赤く点灯する。	● カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、カードを初期化する。 ● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、動画または静止画を消す。	25 27 25 42 82
充電中にCHGランプが速く点滅する。	● ☀ ☀ ☀ ☀ ☀（0.5秒に1回の点滅） コンパクトパワーアダプター、バッテリーに異常があるため、充電が中止される。修理受付センターにご相談ください。	—
充電中にCHGランプがゆっくりと点滅する。	● ☀ ☀（2秒ごとに1回の点滅） バッテリーの温度が40℃以上になっている。バッテリーを放置して、40℃以下になってから充電を開始する。 ● 周囲の温度が0℃～40℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。	18 18 —
充電中にCHGランプが消灯する。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、充電できない。	—

■ 画面や音

こんなときは	どうするの？	📖
画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	18
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取りはずし、しばらくしてから取り付ける。それでも解決しない場合は、電源を取りはずし、先のとがったものでRESET（リセット）ボタンを押す。すべての設定が解除される。	14

こんなときは	どうするの？	📖
画面にノイズが出る。	● プラズマテレビや携帯電話などから離して本機を使用する。	134
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、音がひずんだり、実際より小さく記録されることがある。故障ではない。	—
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	● スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。 ● ステレオビデオケーブルをはずす。	36 —

■ アクセサリー

カードが入らない。	● 正しい向きでカードを入れる。	25
カードに記録できない。	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要な動画/静止画を消す。 ● はじめて使用するときは、カードを初期化する。 ● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、反対側にする。 ● 動画を記録する場合は、対応しているカードを確認する。 ● 静止画番号が最大になっていて、カードに記録できない。新しいカードを入れて、メニューの「静止画番号」を「オートリセット」にする。 ● 他機で記録したカードには本機で記録できない場合がある。	42 82 27 25 24 70 —
リモコンが動作しない。	● メニューの「リモコンセンサー」を「入」にする。 ● リモコンの電池を交換する。	68 21

■ 他機

こんなときは	どうするの？	📖
テレビの放送画面にノイズが出る。	●テレビの近くで使用しているときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプターを離す。	—
再生しても、テレビに映像が出ない。	●テレビの設定を、接続した端子に切り換える。	—
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	●メニューの「USB接続指定」が「DVDライター」になっているときは、「接続時に選択」か「パソコンなど」にする。 ●接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。	69 —
正しく接続しているのにプリンターが動作しない。	●メニューの「USB接続指定」が「DVDライター」になっているときは、「接続時に選択」か「パソコンなど」にする。 ●接続ケーブルを抜き差しし、プリンターの電源を入れ直す。	69 —
正しく接続しているのにDVDライターが認識されない。	●メニューの「USB接続指定」が「パソコンなど」になっているときは、「接続時に選択」か「DVDライター」にする。	69

メッセージが出たら？

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。本機使用時、DVDライター接続時（📖 126）、プリンター接続時（📖 127）の3つの場合のメッセージについて説明しています。

■ 本機使用中に表示されるメッセージ

メッセージ	どんな意味？	📖
カードカバーがあいています	● カードカバーが開いている。カードを入れたらカードカバーを閉じる。	25
カードがありません	● カードが本機に入っていない。	25
カードがいっぱいです	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、動画/静止画を消す。	42 82
カード シーン数がいっぱいです	● カードに999シーン記録されているため、動画のコピーができない。カードの不要な動画を消す。	42
カードにアクセス中です カードを取り出さないでください	● カードにアクセスしているときに、カードカバーを開けた。またはカードカバーを開けたときにアクセスが発生した。メッセージが消えるまでカードを絶対に抜かない。	—
カード読み込み中です	● カードを読み込んでいる。	—
カード 認識できない記録方式です	● テレビ方式が異なる動画をカードにコピーしようとした。	—
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	● カードに書き込めない。カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっていないか確認する。	25
カードの修復が必要です カードの誤消去防止ツマミを解除してください	● カードに記録中に電源が切れた後、カードの誤消去防止ツマミをLOCK側にして電源を入れると表示される。誤消去防止ツマミを反対側にする。	25

カードを確認してください	● カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 ● カードにエラーがあり、記録や再生ができない。 ●「カードを確認してください」が4秒後に消えて □ が赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。□ が緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。 ● 初期化をする。ただし初期化するとすべてのデータが消去される。	25 — 25 27
画像がありません	● 再生する静止画がない。	—
かんたん モードでは使えません	● かんたんモードでは使えないボタンを押した。応用モードに切り換えるときはかんたんボタンを押す。	31
記録できません	● メモリーに異常があるため、記録できない。	—
記録できません カードを確認してください	● カードに異常があるため、記録できない。	—
記録できません 内蔵メモリーにアクセスできません	● メモリーに異常があるため、記録できない。	—
このカードでは動画記録できないことがあります	● SDスピードクラスに対応していないカードを入れた。クラス2以上のカードを使用する。	24
このカードは動画記録できません	● 64MB以下のカードには動画の記録ができない。	24
このカードは動画記録できません 本機で初期化してお使いください	● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化し直す。	27

メッセージ	どんな意味？	📖
このカードは動画再生できません	● 64MB以下のカードの動画は再生できない。	—
このカードは動画再生できません 本機で初期化してお使いください	● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。	27
コピーできません	● カードの空き容量がコピーするデータ量より小さい。カードの不要なシーンを消去するか、コピーするシーンを減らす。	42 74
コンパクトパワーアダプターを接続してください	● 動画の再生モードにしてパソコンとUSBケーブルで接続するときは、本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐ。	—
再生できません	● メモリーに異常があるため、再生できない。	—
再生できません カードを確認してください	● カードにエラーが発生した。	—
再生できません 内蔵メモリーにアクセスできません	● 内蔵メモリーに異常があるため、再生できない。	—
シーンがありません	● 表示するシーンがない。	—
シーン数がいっぱいです	● 記録可能なシーン数を超えた。不要なシーンを消す。 ● プレイリストには99シーンまでしか追加できない。不要なシーンを消す。	42 72
消去ができないシーンがありました	● 他機でプロテクトや編集したシーンは消去できない。	—

処理中です　電源をはずさないでください	● メモリーに書き込んでいるため、電源をはずさない。	—
処理を中止しました	● 操作を中止したため、処理が中止された。	—
スタンバイに入れません	● バッテリー残量が少なくなっているときは、クイックスタート機能のスタンバイに入れない。	—
静止画像が多すぎます　USBケーブルをぬいてください	● USBケーブルを抜いて、カードリーダーなどを使用して静止画が1800枚未満になるまでパソコンに移動するか、不要な静止画を消す。その後、USBケーブルを接続し直す。 ● パソコンの場合、OSの設定によってはパソコンのモニターに画面が出ることがある。画面を閉じてからUSBケーブルを接続し直す。	82 —
静止画モードです	● 静止画記録時にスタート/ストップボタンを押した。	76
送信指定エラー	● 送信指定できる枚数（998枚）を超えたので、枚数を減らす。	111
追加できませんでした	● プレイリストには100時間分のシーンまでしか追加できない。	—
データを修復できませんでした	● 壊れたデータを修復できない。	—
動画/静止画データのバックアップは定期的に行ってください	● 万一の故障やデータ破損に備えて、撮影したデータを定期的にバックアップする。	102 108
内蔵メモリーから動画再生できません 本機で初期化してお使いください	● パソコンで内蔵メモリーが初期化された。本機で初期化する。	27

メッセージ	どんな意味？	
内蔵メモリーがいっぱいです	● 内蔵メモリーに空き容量がない。画面で「 END」が点灯。不要な動画を消す。	42
内蔵メモリーが認識できません	● 内蔵メモリーを認識できない。故障の可能性がある。修理受付センターにご相談ください。	—
内蔵メモリーにアクセスできません	● 内蔵メモリーに異常があるため、アクセスできない。	—
内蔵メモリーに動画記録できません 本機で初期化してお使いください	● パソコンで内蔵メモリーが初期化された。本機で初期化する。	27
内蔵メモリー読み込み中です	● 内蔵メモリーを読み込んでいる。	—
認識できない記録方式です	● テレビ方式が異なる映像を本機に書き戻した。 ● テレビ方式が異なる動画を記録したカードを入れた。	—
パソコンで安全な取りはずしをするまでは ・USBケーブルをぬかないでください ・電源をはずさないでください 接続中は電源OFFやモード切替はできません	● 動画再生時、本機をUSBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作はできない。本機のメモリー内のデータが破損しないよう、パソコンで安全な取りはずしのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機を操作する。	—
バッテリーと通信できません このバッテリーを使用しますか？	● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。	—
バッテリーパックを取り替えてください	● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	18

バッファオーバーです 記録を中断しました	● カードの書き込み速度が遅いため、記録を中断した。SDスピードクラス2以上のカードを使用する。	24
ファイル名が作成できません	● フォルダー番号や静止画番号が最大になった。「オートリセット」して、カードを初期化するか、静止画をすべて消してください。	27 70 82
編集できません	● オリジナルとプレイリストでシーンの移動や消去ができなかった。	—
編集できません カードを確認してください	● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。	27
本機で初期化してお使いください	● メモリーに異常があるためアクセスできない。内蔵メモリーまたはカードを本機で初期化する。	27

■ DVDライター（別売）接続中に表示されるメッセージ

メッセージの対処方法についてはDVDライターの説明書もあわせてご覧ください。

メッセージ	どんな意味？	📖
カードカバーを閉めてください	● カードカバーが開いている。カバーを閉じる。	25
コピーが中断されました	● USBケーブルがはずれたため、ディスク作成を中断した。USBケーブルを確認する。	—
コンパクトパワーアダプターを接続してください	● コンパクトパワーアダプターがつながれていない。本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐ。	—
シーンがありません	● ディスクに保存できるシーンがビデオカメラにない。	—
静止画がありません	● ディスクに保存できる静止画がビデオカメラにない。	—
送信指定がありません	● 送信指定された静止画がない。	—
データを修復できませんでした	● 壊れたデータを修復できない。	—
ディスクがありません	● ディスクを入れる。 ● 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。	104 138
ディスクが認識できません ディスクを確認してください	● DVDライターに8cmのDVDディスクや市販のDVDソフトウェアなどを入れた。	—
ディスク認識中です	● ディスクを読み込んでいる。	—

ディスクへのアクセスに失敗しました ディスクを確認してください	● ディスクの書き込み中または読み込み中にエラーが発生した。 ● 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。 ● ディスクを取り出してから入れ直す。	— 138 —
ビデオカメラから読み出せません	● ビデオカメラからデータを読み出せない。 ● USBケーブルがはずれていないか確認する。	—
未作成シーンがありません	● ディスクにまだ保存していないシーンがビデオカメラにない。	—

■ プリンター接続中に表示されるメッセージ

メッセージの対処方法については、プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

メッセージ	どんな意味？
インクエラー	● インクに異常がある。インクを交換する。
インクがありません	● インクが正しく入れられていない、またはインクがない。
インクが残りわずかです	● インクの交換時期が近づいている。「続行」を選ぶと、印刷を再開する。
インク吸収体が満杯です	● お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）に、インク吸収体の交換を依頼してください。インク吸収体はお客様ご自身で交換はできません。
印刷エラー	● 「中止」を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す。 ボタンを使って印刷しているときは、印刷設定を確認する。プリンターの状態を確認する。
印刷指定エラー	● 印刷指定の設定可能な静止画の枚数（998枚）を超えた。

メッセージ	どんな意味？
印刷指定が必要です	● 内蔵メモリーまたはカード内に印刷指定をしている静止画がない。
印刷できない画像です	● 他機で記録したり、異なる画像タイプで記録したり、パソコンで加工した静止画を印刷しようとした。
印刷できない画像が＊枚ありました	● 他機で記録したり、異なる画像タイプで記録したり、パソコンで加工した静止画を＊枚印刷指定して印刷しようとした。
サイズを選びなおしてください	● ビデオカメラとプリンターで用紙サイズの設定が異なっている。
紙間レバー位置が不正です	● 紙間レバー位置を正しい位置に直す。
設定を確認してください	● ボタンを使って印刷するときに、プリンターで対応していない設定になっている。
通信エラー	● 通信中にエラーが発生した。「中止」を選んで印刷を中止し、接続ケーブルを抜いて、プリンターの電源を切る。しばらくしてから、電源を入れ直し、接続ケーブルをつなぐ。ボタンを使って印刷しているときは、印刷設定を確認する。 ● 大量の静止画が記録されたカードを使って印刷しようとした。静止画の枚数を減らす。
ハードウェアエラー	● 「中止」を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す。 ● プリンターの状態を確認する。
ファイルエラー	● 他機で記録したり、異なる画像タイプで記録したり、パソコンで加工した静止画を印刷しようとした。
プリンターカバーが開いてます	● プリンターのカバーを閉じる。

プリンタートラブル発生	● 修理が必要なエラーが起きている可能性がある。キヤノン製プリンターの場合、電源ランプ（緑色）とエラーランプ（オレンジ色）が交互に点滅する。USBケーブルを抜いた後、プリンターの電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。
プリンターは使用中です	● プリンターが使用中。プリンターの状態を確認する。
プリントヘッド未装着	● プリントヘッドが取り付けられていないか、プリントヘッドの不良。
用紙エラー	● 用紙に異常がある。プリンターの用紙が正しく入れられていないか、用紙サイズが間違っている。 ● 排紙トレイが閉じているときは、開ける。
用紙がありません	● プリンターに用紙が正しく入っていない、または用紙がない。
用紙が詰まりました	● 印刷中に用紙が詰まった。[中止]を選び印刷を中止する。用紙を取り除き、用紙を入れ直してから再度印刷する。

MEMO キヤノン製プリンターPIXUS/SELPHY DSシリーズについて

- プリンターのエラーランプが点滅しているときや、操作パネルや接続したテレビにエラーメッセージが出ているときは、必ずプリンターの説明書でご確認ください。
- 本書やプリンターの説明書を参考に対処をしてもエラーメッセージが表示されるときは、修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。

安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

こんなときは

- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落としてこわした
- 内部に水や異物が入った

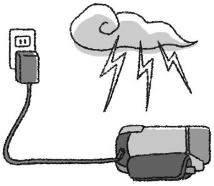
▶ **バッテリーをはずして、電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、修理受付センターに問い合わせるか、購入販売店に修理を依頼してください。

⚠警告　死亡や重傷を負う恐れがある内容を示しています。

禁止

内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。
➤ 火災 感電 けが



雷が鳴っているときには電源プラグに触れない。 ➤ 感電

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 ➤ 感電

ぬらさない。 ➤ 火災 感電 やけど

降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用はとくに気をつける。

液もれしたバッテリーは使用しない。 ➤ 皮膚の障害 失明 発火

液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

分解や改造をしない。
➤ 発熱 感電 火災 けが

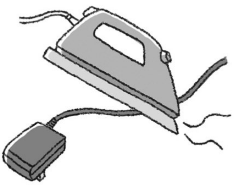


強い衝撃や振動を与えない。
➤ 火災 やけど けが

特に、液晶画面やレンズは割れるとけがの原因。

禁止

電源コードについてつぎのことを守る。
➤ 火災 感電
- 傷つけない ●加工しない
- 無理に曲げない ●引っ張らない
- 熱機具に近付けない ●加熱しない
- 重いものを載せない



バッテリーやコイン型リチウム電池を熱しない、火中投入しない。
➤ やけど けが

バッテリー端子部に金属のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。➤ やけど けが

ショートして、高熱や液漏れの恐れあり。

充電中は長時間にわたる接触をしない。➤ 低温やけど

海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC/ACコンバーターなどの電源につながない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。➤ 火災 感電 けが

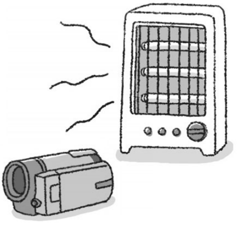
油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。➤ 火災 感電 やけど

内部にほこりや水などが入る恐れあり。



直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。
➤ 火災 やけど けが

発熱や破裂の恐れあり。



不安定な場所に置かない。➤ けが

落下、転倒の恐れあり。

指定された機器を使う。➤ 火災 感電 けが

禁止

乳幼児の手の届くところに置かない。➤ 感電 けが

コイン型リチウム電池を乳幼児の手の届くところに置かない。➤ けが

誤飲した場合はすぐに医師に相談する。

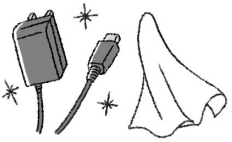
運転中に使用しない。➤ 交通事故



強制

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。➤ 火災

電源プラグは根元まで確実に差し込む。➤ 火災 感電



コンセントから抜くときは、コンパクトパワーアダプターの本体を持って抜く。➤ 火災 感電

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。➤ けが 交通事故

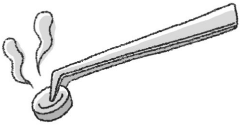
ふろく

⚠注意 傷害、物的損害を負う恐れがある内容を示しています。

禁止

コイン型リチウム電池を金属ピンセットなどでつかまない。➤ やけど

発熱の恐れあり。



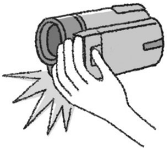
ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。➤ 火災

内部に熱がこもる恐れあり。

ミニビデオライトを目に近づけて発光しない。➤ けが

目を傷める恐れあり。特に乳幼児を撮影するときは1m以上離れる。

車の運転者に向けてミニビデオライトを使用しない。➤ 交通事故

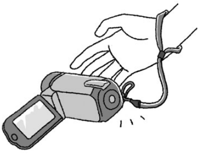


強制

コード類は、つまづかないように配置する。➤ けが

足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下する恐れあり。

バッテリー、リストストラップ、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは脱落しないように確実に取り付ける。➤ けが



バッテリーを取りはずすときは、落とさないように気をつける。➤ けが

飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従う。

機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れ。

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。➤ 火災

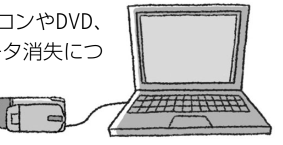
取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

■ ビデオカメラ本体

データはバックアップする

故障などに備えて、撮影した動画や静止画はパソコンやDVD、ビデオ機器などにバックアップしてください。データ消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

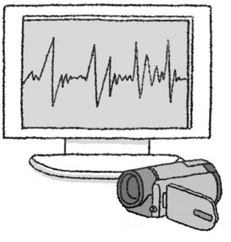


ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ･砂･水･泥･塩分の多い場所で使用･保管しないでください。本機は防水･防塵構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。

テレビの上などで使わない

プラズマテレビや携帯電話の近くなど、電磁波の出る場所で使うと映像や音声が乱れることがあります。



太陽にレンズを向けない

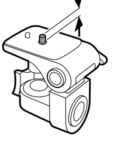
太陽や強いライトなどにレンズを向けると内部の部品が溶けることがあります。

液晶画面を...

つかんでもちあげない ➔ 液晶画面の接合部が破損することがあります。
無理に閉じない ➔ 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

ネジの長い三脚は使わない

取り付けネジの長さが5.5mm以上の三脚を取り付けると、本体を破損することがあります。



■バッテリー

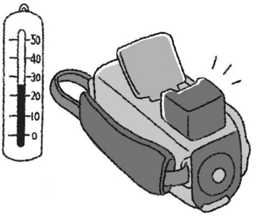
端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃～30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき



- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取りはずし、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

正しく残量表示されない場合は

バッテリーをフル充電してください。ただしバッテリーを高温下で長時間使ったり、フル充電後に放置したりすると、正しく表示されないことがあります。使用回数が多いバッテリーも正しく表示されない場合があります。なお、表示は目安としてご使用ください。

インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

- インテリジェントシステム（📖 143）に対応していないバッテリーを本機やバッテリーチャージャーCG-800（別売）に取り付けて、充電することはできません。
- インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。

■ カード

データはバックアップする

静電気、カードの故障などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

高温・多湿の場所に放置しない

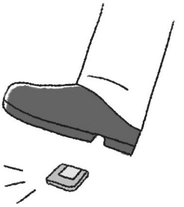


磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

ていねいに扱う

落とす、濡らす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。



シールを貼らない

カード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまる恐れがあります。

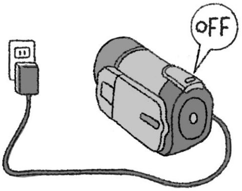
ふろく

■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機が使用状態にあるときに充電されるため、約3ヶ月使わないと完全に放電してしまいます。このときはつぎのようにして充電してください。

充電のしかた（所要時間：24時間）

① 電源を切る
② 本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐ



■ コイン型リチウム電池（CR2025）

コイン型リチウム電池はリモコンに使用されます。捨てるときは、燃えないゴミとして処理してください（地域によって異なりますので指示に従ってください）。

■ その他のご注意

個人情報の流出に注意（譲渡・廃棄するときは）

内蔵メモリーやカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。

譲渡するときは

一度内蔵メモリーの完全初期化（📖 27）を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度完全初期化を行います。これによって、以前に記録されていたデータの復元を困難にすることができます。

破棄するときは

内蔵メモリーやカードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

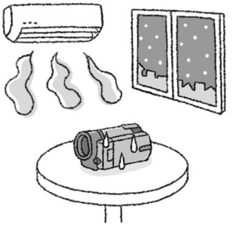
- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

カードを取り出し、本機をビニール袋で密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。



○ この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。

○ リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

○ 交換後不要になった電池、及び使用済み製品から取りはずした電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。

○ リサイクルに関するお問い合わせ先

・ 製品、リチウム電池をご購入いただいた販売店

・ 有限責任中間法人　JBRC
ホームページ　http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

・ キヤノン/キヤノンマーケティングジャパン
キヤノンサポートページ　canon.jp/support

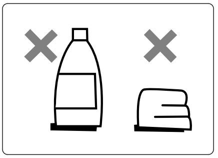
Li-ion

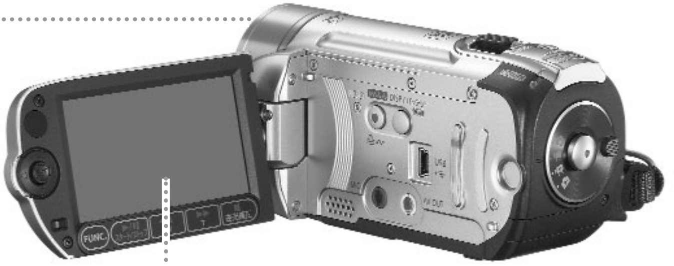
日常のお手入れ

本体がよごれたときは

柔らかい布で拭こう

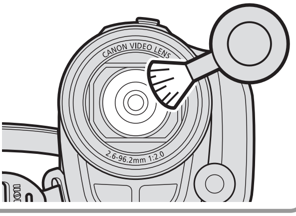
- 乾いた布で軽く拭いてください。
- 化学ぞうきんやシンナーは表面を傷めますので使わないでください。





レンズ

ブロアでゴミやホコリを取ったら、市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。



液晶画面

市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。水滴が付着しているときは柔らかい布で拭き取ります。

自動でピントが合わない？

レンズが汚れていると自動でピントが合わなくなることがあります。

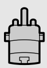
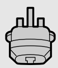
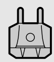
海外で使う

海外で使用するときの便利機能やマメ知識です。

■ 充電する

海外でも付属のコンパクトパワーアダプター（AC100～240V 50/60Hzまでの電源に対応）を使ってそのまま充電できます。コンセントの形が異なる国では、変換プラグを使用してください。
コンパクトパワーアダプターを変圧器に接続しないでください。故障する恐れがあります。

国や地域によって変換プラグが異なります

タイプ	A	B	BF	C	O
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A
メキシコ	A

●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア	
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. O
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. O
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア	
オーストラリア	O
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	O
ニュージーランド	O
フィジー	O

●中南米	
アルゼンチン	BF. C. O
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C

●中近東	
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ	
アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

■ テレビで見る

以下の国や地域では、本機をテレビに接続するとそのまま映像を見ることができます。

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- 韓国
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバゴ
- トンガ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- ボリビア
- ミャンマー
- メキシコ

(NTSC方式を採用している国や地域　－NHK放送文化研究所発行「世界の放送2007」による－)

■ 旅行先の日時に合わせる

2つの地域の日時を登録できるため、海外旅行先の日時を設定しておくと、撮影した映像に現地の日時を記録できます。

1. 「時計を合わせる」(📖 22)の操作1～3❷までを行う。

2. ジョイスティックを上下に押して、✈ の項目を選ぶ。

3. ジョイスティックを左右に押して、旅行先を選ぶ→ (SET) を押す。
   - ・旅先がサマータイムの場合、☀ が表示されている項目を選ぶ。



4. 「時計を合わせる」(📖 22)の操作4～5を行う。

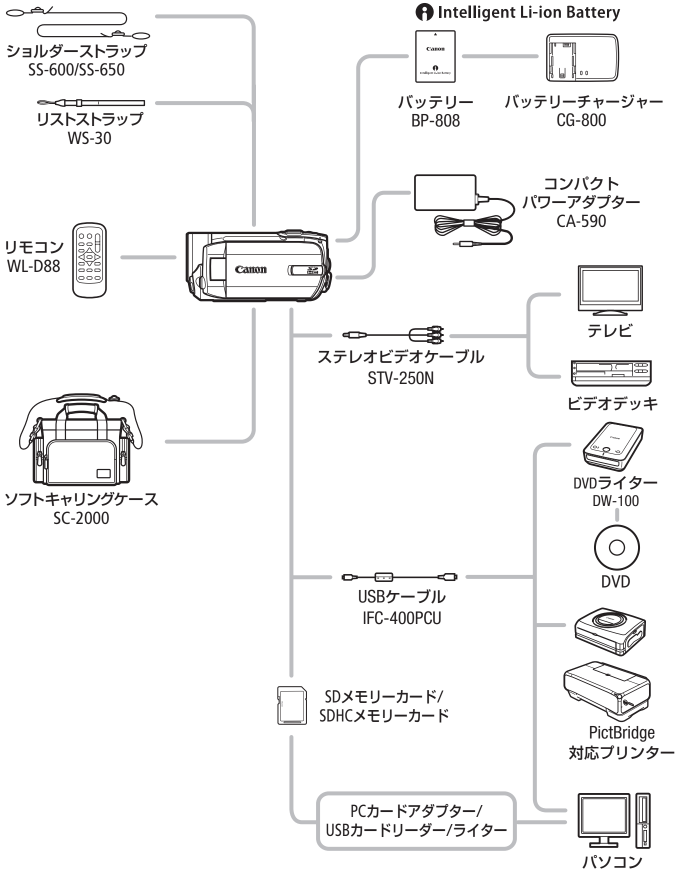
旅行から帰ってきたら

1. 上記の操作2でジョイスティックを上下に押して、🏠 の項目を選ぶ。

2. FUNC.ボタンを押す。

アクセサリー紹介

本機の付属品または別売品について紹介しています。



ご注意

● **アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。**

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

MEMO

● インテリジェントリチウムイオンバッテリーについて

バッテリーパックBP-808は、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。インテリジェントシステムに対応したビデオカメラかバッテリーチャージャーCG-800（別売）でのみ使用/充電できます。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

FUNC.メニューの紹介

設定できる機能は、モードダイヤルの位置により異なります。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。

■ 撮影時に使うメニュー

機能	設定内容			
撮影モード	**P（プログラムAE）**、Tv（シャッター優先AE）	●	●	48
	SCN（ポートレート、スポーツ、ナイト、スノー、ビーチ、夕焼け、スポットライト、打上げ花火）	●	●	46
ホワイトバランス	AWB **オート**、太陽光、電球、セット	●	●	54
画質効果	**画質効果切**、くっきりカラー、すっきりカラー、美肌	●	●	56
D.エフェクト設定	**D.エフェクト切**、F1 オートフェード、F2 ワイプ、E1 シロクロ、E2 セピア、E3 アート、E4 モザイク	●		57
	D.エフェクト切、E1 シロクロ、E2 セピア		●	
ドライブモード	**単写**、連写、高速連写、AEB		●	84
録画モード	XP 高画質モード 9Mbps、**SP 標準モード 6Mbps**、LP 長時間モード 3Mbps	●		32
静止画サイズ/画質	LW 1152×648、**L 1152×864**、S 640×480		●	78
	スーパーファイン、**ファイン**、ノーマル		●	

ふろく

■ 再生時に使うメニュー

機能	設定内容			
コピー[■→□]	オリジナルのとき：全シーン、この日の全シーン、1シーン、キャンセル	●		74
	プレイリストのとき：いいえ、はい	●		74
コピー[■→□] コピー[□→■]	インデックス画面のとき：全ての静止画、1枚、キャンセル		●	91
	1枚表示画面のとき：いいえ、はい		●	91
プレイリスト追加 *1	この日の全シーン、1シーン、キャンセル	●		71
移動 *2	—	●		73
消去	オリジナルのとき：この日の全シーン、1シーン、キャンセル	●		42
	プレイリストのとき：いいえ、はい	●		72
日付選択 *1	—	●		39
画像プロテクト	—		●	90
印刷指定	—		●	98
送信指定	—		●	111

*1 オリジナルのときのみ
*2 プレイリストのときのみ

MEMO

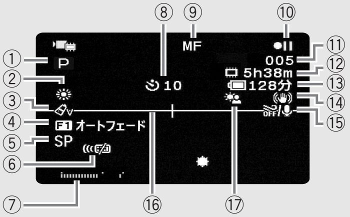
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。
- FUNC.ボタンを押すと、メニューが終了します。

画面の見かた

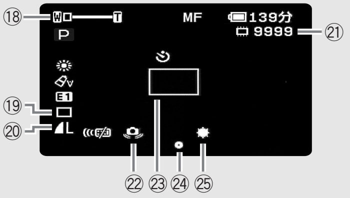
撮影中や再生中に表示される情報です。■内の数字は参照ページです。

■撮影のときの画面

動画のとき



静止画のとき

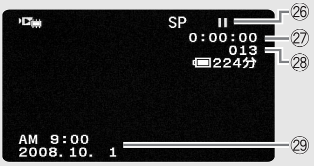


① 撮影モード 46
② ホワイトバランス 54
③ 画質効果 56
④ デジタルエフェクト 57
⑤ 録画モード 32
⑥ リモコンセンサー 68
⑦ レベルメーター 67
⑧ セルフタイマー 51
⑨ フォーカス 53
⑩ 撮影状況 147
⑪ 撮影シーン数/撮影時間(時：分：秒)
⑫ 撮影可能時間 147
⑬ バッテリー残量の目安 147
⑭ 手ぶれ補正 63
⑮ ウィンドカット 64
⑯ マーカー 67
⑰ 逆光補正 52
⑱ ズーム 33 、露出 52
⑲ ドライブモード 84
⑳ 静止画画質/サイズ 78
㉑ 静止画の記録可能枚数 147
㉒ 手ぶれ警告 63
㉓ AF枠 63
㉔ ピント・露出の固定状態 76
㉕ ミニビデオライト 50

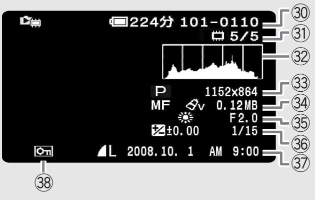
ふろく

■再生のときの画面

動画のとき



静止画のとき



㉖ 再生状況
㉗ 再生時間(時 : 分 : 秒)
㉘ 再生シーン番号
㉙ データコード 59
㉚ 静止画番号 70
㉛ 表示枚数/全枚数
㉜ ヒストグラム 87
㉝ 撮影モード 46 /サイズ 78
㉞ フォーカス 53 /画質効果 56 /データ量
㉟ ホワイトバランス 54 /しぼり数値
㊱ 露出 52 /シャッタースピード 48
㊲ 静止画画質/サイズ 78 /日時 22
㊳ 画像プロテクト 90

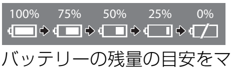
⑩ 撮影状況/㉖ 再生状況

●: 撮影(録画)　●❚❚: 撮影一時停止　▶: 再生　❚❚: 再生一時停止　▶▶: 早送り　◀◀: 早戻し
◀❚/❚▶ : スロー再生　❚▶ : コマ送り　◀❚ : コマ戻し

⑫撮影可能時間

メモリーに空きがなくなると、「 END」または「 END」が点灯し、停止します。

⑬バッテリー残量の目安



バッテリーの残量の目安をマークで、撮影または再生可能な時間を分で表示します。 が赤く表示されたら、バッテリーが消耗しています。充電したバッテリーと交換してください。本機やバッテリーの状態によっては、実際のバッテリー残量と表示内容が一致しない場合があります。

㉑静止画の記録可能枚数

枚数の緑色表示は残り6枚以上、黄色表示は残り1～5枚、赤色表示は0枚を示します。ただし、再生時はすべて緑色表示となります。記録可能枚数は記録時の状況により異なることがあります。記録しても枚数表示が減らなかったり、一回の記録で2枚減ることがあります。

主な仕様

iVIS FS10 システム

内蔵メモリー/ カード記録	動画：SD-Video規格 映像圧縮方法：MPEG2 音声圧縮方法：Dolby Digital 2ch（AC-3） 静止画：DCF準拠、Exif Ver2.2準拠、DPOF対応 静止画圧縮方法：JPEG（スーパーファイン、ファイン、ノーマル）
信号方式	NTSC方式準拠
記録メディア	内蔵メモリー（容量：8GB）、SD/SDHCメモリーカード
録画/再生時間	内蔵メモリー（XP、SP、LP）：約1時間50分、約2時間45分、約5時間10分 4GBメモリーカード（XP、SP、LP）：約55分、約1時間20分、約2時間35分
撮像素子	1/6型CCD、総画素数107万画素 有効画素　動画 ワイド撮影時：アドバンスト48倍ズーム時 約71万（ワイド）-41万画素（テレ端） 光学37倍ズーム時　約55万画素 4：3撮影時：アドバンスト55倍ズーム時 約69万（ワイド）-31万画素（テレ端） 光学37倍ズーム時　約69万画素 静止画 ワイド撮影時：約60万画素 4：3撮影時：約80万画素
液晶画面	2.7型TFTワイドカラー液晶（約12.3万画素）
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=2.6－96.2mm　F=2.0－5.2　光学37倍ズーム 35mmフィルム換算時の焦点距離 動画 ワイド撮影時：アドバンストズーム時　約41.7-2002mm 光学ズーム時　約47.1-1743mm 4：3撮影時：アドバンストズーム時　約44.6-2453mm 光学ズーム時　約44.6-1650mm 静止画 ワイド撮影時：約45.2-1672mm 4：3撮影時：約41.5-1536mm
レンズ構成	8群10枚、非球面レンズ1枚使用（両面非球面）
焦点調整	TTL自動焦点、マニュアル調整可
最短撮影距離	ワイド端1cm、ズーム全域1m
色温度切り換え	フルオート、セット、太陽光、電球
最低被写体照度	2.1ルクス（ナイト（SCN）、シャッタースピード1/8秒時） 8ルクス（P（プログラムAE）モード（オートスローシャッターオン）、シャッタースピード1/30秒時）

iVIS FS10 システム	
推奨被写体照度	100ルクス以上
手ぶれ補正機能	電子式
静止画記録サイズ	静止画：1152×864、1152×648、640×480

入・出力端子（レベル/インピーダンス）	
映像/音声出力端子（AV端子）	Φ3.5mmステレオミニジャック、1Vp-p/75Ω -10dBv（47kΩ負荷時/3kΩ以下）
USB端子	mini-B、USB2.0 Hi-Speed
外部マイク入力端子	Φ3.5mmステレオミニジャック、-57dBV（600Ωマイク使用時）/5kΩ

電源その他	
電源電圧	DC7.4V（バッテリーパック）、DC8.4V（DCIN）
消費電力（SPモード、AF合焦時）	約1.9W（液晶画面明るさ標準、内蔵メモリー記録時） 約2.0W（液晶画面明るさ標準、メモリーカード記録時）
動作温度	0℃～＋40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約58×60×124mm（グリップベルトを含まず）
撮影時総質量	約310g（バッテリーパックBP-808、SDメモリーカード含む）
本体質量	約260g

コンパクトパワーアダプター　CA-590	
電源	AC 100V-240V、50/60Hz、0.14～0.08A
出力/消費電力	公称DC8.4V、0.6A
使用温度	0℃～＋40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約46×26×70mm
本体質量	約95g

バッテリーパック　BP-808	
使用電池	リチウムイオン（インテリジェントリチウムイオンバッテリー）
使用温度	0℃～＋40℃
公称電圧	DC7.4V
容量	890mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約30.7×23.3×40.2mm
質量	約46g

付属のバッテリーBP-808をフル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです。

	録画モード	XP	SP	LP
内蔵メモリー	連続撮影時間	3時間15分	3時間15分	3時間20分
	実撮影時間 *	1時間40分	1時間45分	1時間50分
	再生時間	4時間55分	4時間55分	4時間55分
カード	連続撮影時間	3時間 5分	3時間10分	3時間10分
	実撮影時間 *	1時間35分	1時間35分	1時間35分
	再生時間	4時間35分	4時間40分	4時間40分

* 実撮影時間とは撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間です。
* 液晶画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。
* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

バッテリーは予定撮影時間の2～3倍分をご用意ください

ビデオカメラの消費電力はズームなどの操作によって変化します。そのため、上記の使用時間より短くなることがあります。

iVIS FS10は、DCFに準拠しています。DCFは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
iVIS FS10は、Exif 2.2(愛称「Exif Print」)に対応しています。Exif Printは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいな印刷出力が得られます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

さくいん

商標について

- SDHCロゴは商標です。
- SDロゴは商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

MPEG-2使用許諾について

個人使用目的以外で、MPEG-2規格に適合した本機を、パッケージメディア用に映像情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許使用許諾を取得する必要があります。この特許使用許諾はMPEG LA,L.L.C., (250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206 USA)から取得可能です。

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

アフターサービス

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、本保証書を製品に添付のうえ弊社修理受付窓口、またはお買い上げ店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛りにつきましても、一部ご負担いただく場合があります。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存･読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理を依頼されるときは

- 故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は、十分な梱包でお送りください。

補修用性能部品について

- ビデオカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後8年です。従って、期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましては弊社またはお買い上げ店にお問い合わせください。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

修理について

■ 修理に出すまえに

- 修理内容によっては、内蔵メモリーの初期化または交換が必要になることがあります。その場合、メモリー内のデータはすべて消去されますので、修理に出される前に、データをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、不具合症状の再現・確認のために、必要最小限の範囲でメモリー内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。



■ 修理のお問い合わせは

修理受付センター

050-555-99077（全国共通）

平日 9:00～18:00
日曜日、祝祭日、年末年始、弊社休業日はお休みさせていただきます。

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようにお願いいいたします。

- 故障状態や動作の不具合を確認させていただき、その上で修理方法のご案内をいたします。なお、故障状態のほかに、ご購入年月日と型名「iVIS FS10」であることをお伝えください。
- 修理を承る窓口（サービスセンター、修理センター、QRセンター）をご案内いたします。
- 宅配便による修理品の発送、または、弊社によるお引き取り、お届けについてご案内いたします。

電話番号が050から始まるIP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。このときは、お手数ですがNTTの固定電話からおかけ直しいただくようお願いいたします。

DIJ-291

使いかたについてのお問い合わせは

キヤノンマーケティングジャパン お客様相談センター

050-555-90003（全国共通）

平日 9:00～20:00 / 土日祝日* 10:00～17:00

*1月1日～1月3日を除く

※上記番号をご利用いただけない方は**043-211-9394**をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。

デジタルビデオカメラホームページ

最新の情報が掲載されておりますので、ぜひお立ち寄りください。

■ デジタルビデオカメラ製品情報

http://canon.jp/ivis

■ キヤノン サポートページ

http://canon.jp/support

■ CANON iMAGE GATEWAY

http://www.imagegateway.net/

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

PictBridge

CANON iMAGE GATEWAY

PUB. DIJ-291B ©CANON INC. 2008

本書の記載内容は2008年1月現在です。製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。